

2 0 2 7 年 度

国立音楽大学 大学院 音楽研究科
(修 士 課 程)

学 生 募 集 要 項

(付 外国人留学生、社会人入学試験制度志願者 注意事項)

国立音楽大学 入試センター

〒190-8520 東京都立川市柏町 5 - 5 - 1

TEL 042-535-9536

<https://www.kunitachi.ac.jp/>

— 本学の基本的理念 —

自由、自主、自律の精神を以て良識ある音楽家、教育家を育成し、日本および世界の文化の発展に寄与する。

— アドミッション・ポリシー —

本課程は、以下のような人を入学者として受け入れる。

1. 本課程での学修に必要な知識や技能を有する人
2. これまでに修得した演奏・創作能力や研究能力をさらなる研鑽を通して向上させたいという意志をもつ人
3. 将来、日本や世界の幅広い分野で、音楽家や教育家として、あるいは音楽による社会活動を通して、社会に貢献する意欲のある人

— カリキュラム・ポリシー —

本課程は、演奏・創作における実践能力と理論の研鑽、あるいは音楽学や音楽教育学における研究能力の研鑽のために、下記の方針に従って、教育課程を編成・実施する。

1. 修士課程レベルでの音楽研究のために必要な基礎的な知識や方法を修得する
2. 専攻あるいはコースにおいては、高度な教育研究を行う
3. 声楽、器楽、創作担当教員と音楽学担当教員の連携によって、課題研究の指導を行う
4. 高等教育機関での指導法を修得する

— ディプロマ・ポリシー —

本課程は、下記の資質・能力を修得し、それらを総合的に活用できる人に、学位（修士）を与える。学生は所定の科目を修得するとともに、修士論文等（声楽・器楽・作曲の各専攻では修了演奏・修了作品と課題研究、音楽学・音楽教育学では修士論文）の審査および最終試験に合格しなければならない。

1. 音楽のみならず文化や芸術に関する、幅広い知識・学識を身につけている
2. 説得力ある演奏を行うことができる
3. 自己の創作理念・理論による創作ができる
4. 自己の演奏や創作について専門的な研究ができる
5. 音楽学ならびに音楽教育学の分野において専門的な研究ができる

目 次

1. 本学大学院(修士課程)の目的	2
2. 専攻別募集人員	2
3. 標準修業年限	2
4. 選抜方法	2
5. 応募資格	2
6. 出願手続	3
7. 受験票印刷	5
8. 試験科目表	9
9. 試験科目概要および試験課題曲目	10
10. 試験実施期日(予定)および試験場	14
11. 合格発表	15
12. 入学手続	15
13. 国立音楽大学大学院奨学金について	16
14. 器楽専攻鍵盤楽器(ピアノ)コースのレッスン時間について	16
15. 器楽専攻弦楽器コースのレッスン時間について	17
16. 長期履修制度について	17
17. 教育課程の概要	17
18. 学位および資格	32
19. 外国人留学生志願者注意事項	32
20. 社会人入学試験制度志願者注意事項	34
21. 教員組織	36
22. 2026年度入学試験問題	37

入学志願者への注意事項

- 試験場等に変更が生じた場合は学内に掲示する。試験当日は必ず確認すること。
- 試験内容に関する電話での問い合わせには応じない。
- 試験当日の集合時刻を厳守すること。試験開始時刻に遅れた場合は受験資格を失う。
- 時計のない試験場もあるので、時計(計時機能に限る)を持参すること。なお、試験場および控室では、携帯電話・スマートフォン等の電源は切ること。(時計として使用することも認めない。)
- 提出すべき書類、作品などが指定された日時に遅れた場合は受け付けない。
- 外国人留学生入学試験は、出願手続、試験科目等、一部別要項に基づいて実施されるので、志願者は「19.外国人留学生志願者注意事項」(32ページ)も必ず確認すること。
- 社会人入学試験制度は、出願手続、試験科目等、一部別要項に基づいて実施されるので、志願者は「20.社会人入学試験制度志願者注意事項」(34ページ)も必ず確認すること。

個人情報の取扱いについて

出願にあたって入力・記入していただいた氏名・住所その他の個人情報は①出願・登録・選考、②学事および学生生活に関する管理、連絡および手続き、③本人および保証人宛に送付する各種書類の発送、連絡とこれらに付随する事務処理を行うために利用します。なお、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理いたします。

1. 本学大学院（修士課程）の目的

広い視野に立って精深な学識と技術を授け、音楽の専攻分野における創造、表現、研究能力またはこれに加えて高度の専門性が求められる職業等を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

2. 専攻別募集人員

専攻	コース	人員	専攻	コース	人員		
声楽	オペラ	18	作曲	作品創作	8		
	歌曲			音楽理論			
器楽	鍵盤楽器	22				ソルフェージュ	
	伴奏			音楽デザイン			
	弦楽器		音楽学	4			
	管楽器		楽器・音響				
	打楽器		音楽療法				
			音楽教育学		6		
			合計		58		

※鍵盤楽器は [ピアノ、オルガン]、弦楽器は [ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ]、管楽器は [フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ] を募集します。

※下記のコース間に限り第2志望の併願を認めます。

・声楽専攻オペラコースと歌曲コース ・器楽専攻鍵盤楽器（ピアノ）コースと伴奏コース

〈注意〉伴奏コース(声楽系)と伴奏コース(器楽系)は併願できません。伴奏コースの募集は声楽系・器楽系に分けて行い、入学後はそれぞれのカリキュラムを履修します。入学後の変更は認めません。

3. 標準修業年限

2年

※音楽学専攻、音楽教育学専攻は、長期履修制度あり（詳細は17ページ 項目16.を参照のこと。）

4. 選 抜 方 法

入学者の選考は試験によって行います。

5. 応 募 資 格

- (1) 大学を卒業した者および大学院入学までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者および大学院入学までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および大学院入学までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者。
- (4) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および大学院入学までに修了見込みの者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。(昭和28年文部省告示第5号)
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学までに22歳に達する者。

※応募資格(6)該当者については、入学資格審査を行いますので、事前に本学入試センターまでお問い合わせください。入学資格を認められた場合に限り、出願を認めます。

個別入学資格審査申請期間：2026年6月8日(月)～7月17日(金)

6. 出 願 手 続

(1) 出 願 期 間

Web出願登録期間：2026年10月1日（木） 9時～10月6日（火）13時

入学検定料支払期間：2026年10月1日（木） 9時～10月6日（火）13時

出 願 期 間：2026年10月1日（木）～10月6日（火） [消印有効]

※上記期間内の消印で郵送された書類のみ有効。速達簡易書留またはレターパックプラス(赤)で郵送してください。

※Web出願登録期間最終日である2026年10月6日(火)に出願登録した場合、入学検定料支払期限および出願書類有効消印日はいずれも2026年10月6日(火)までとなりますので注意してください。

(2) Web出願登録および入学検定料の納入

①Web出願登録

Web出願登録期間内に本学Webサイト (<https://www.kunitachi.ac.jp/>) (入学案内>大学院 入学案内>修士課程>Web出願) から「Web出願サイト」にアクセスし、試験/専攻コース選択および個人情報登録等を済ませてください。

【Web出願に際しての注意】

- ・ Web出願登録時に入力いただくメールアドレスについて、原則、出願登録後の変更はできません。
- ・ 登録内容に誤りがある場合は、入学検定料を支払わずに最初から登録し直してください。
- ・ 入力する氏名は、原則戸籍と同一の氏名にしてください。ただし、漢字等で入力できない文字については、代替の漢字（なければカナ文字）を入力してください。

【顔写真について】

正面、上半身、脱帽、背景なし、カラー（白黒は不可）、JPG形式（データサイズ5MB以下）、出願期間から数えて3ヶ月以内に撮影した、受験用にふさわしいものをご用意ください。提出された写真は合格後学生証に使用しますので、以下のような写真は避けてください。出願登録後の変更はできません。

- 1) プリントされた写真をスマートフォン等で撮影（複写）したもの
- 2) 不鮮明なもの
- 3) メガネのレンズに光りが反射したもの
- 4) 前髪が長すぎて目元がみえないもの
- 5) 頭部が切れてしまっているもの
- 6) 画面に占める顔の割合が極端に小さいもの
- 7) 風景、カーテン等を背景にしたもの
- 8) その他、容易に人物が特定できないもの

②入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、①Web出願登録が完了してから行ってください。

● 入学検定料

修士課程 42,000円

修士課程 外国人留学生入試 50,000円

※入学検定料の他に別途手数料が必要となります。

※第2志望を併願する場合の追加検定料はありません。

● 入学検定料支払期間 2026年10月1日（木）9時～10月6日（火）13時

● 支払方法

☞ コンビニエンスストア（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア）

☞ クレジットカード

☞ 郵便局・銀行 ATM（Pay-easy 対応 ATM）

※入学検定料の金額と支払方法によって手数料が異なります。

※いったん納入された入学検定料は返還いたしません。

①②の手順

- (1) 「Web出願サイト」にアクセスする。
- (2) 【出願登録】入力画面に沿って入力、登録を進める。
 - ・志望する試験種別を選択する
 - ・志望する専攻（コース）等を選択する
 - ・個人情報等を入力する
 - ※受信確認メールが届くことを確認する
 - ※顔写真データ（カラーに限る）を用意し、画面の指示に従いアップロードする
- (3) 登録内容確認画面において、入力した内容をよく確認し、誤りがないことを確認した上で登録を確定する。
- (4) 入学検定料の決済を行う。
 - ※登録したメールアドレスに出願登録案内メールおよび支払完了メール（クレジットカード決済の場合は支払完了メールのみ）が届くことを確認する
- (5) 登録が完了すると「マイページ」へのアクセスが可能となり、志願票や宛名ラベルの印刷が可能となる。

③出願書類の郵送

出願書類は原則郵送となります。（大学の窓口では受け付けません。）

入学検定料の支払い完了後、「マイページ」から宛名ラベルを印刷、および本学Webサイトから必要書類を印刷し、市販の角2封筒に宛名ラベルを貼付の上、出願する専攻（コース）等に応じたすべての出願書類を封筒に入れ*、速達簡易書留またはレターパックプラス（赤）で郵送してください。（消印有効。）

レターパックプラスを利用する場合は、上記*をレターパックへ封入し、オモテ面の宛名等は各自で記入してください。

● 出願先

〒190-8520 東京都立川市柏町5-5-1

国立音楽大学 入試センター TEL 042-535-9536（直通）

(3) 出 願 書 類

出願に必要な書類等は次ページのとおりです。不備があると受験できなくなりますので注意してください。

「本学所定用紙」は本学Webサイト（<https://www.kunitachi.ac.jp/>）（入学案内＞大学院 入学案内＞修士課程）からダウンロードしてください。

必要書類等	様式	書類記入要領及び注意
1. 志願票	—	志願票は入学検定料の決済後、「マイページ」から印刷できるようになります。必ずカラープリンターで印刷してください。（白黒印刷不可。）
2. 成績証明書	出身大学等 発行のもの	大学等に在学中の者は、前年度までの成績証明書を提出する。合格した場合、卒業時の成績証明書を2027年3月23日(火)までに提出する。 ※本学卒業生は2026年10月1日(木)までに教務課に請求すること。
3. 卒業（見込）証明書		本学学部卒業見込みの者は不要。 ※本学卒業生は2026年10月1日(木)までに教務課に請求すること。
4. 声楽受験曲副票	本学所定用紙	声楽専攻のみ提出。
5. ピアノ受験曲目届	本学所定用紙	器楽専攻鍵盤楽器（ピアノ）コースと伴奏コースのみ提出。
6. 弦管打楽器受験曲目届	本学所定用紙	器楽専攻（弦楽器・管楽器・打楽器コース）のみ提出。
7. 奨学金申請書	本学所定用紙	「国立音楽大学大学院奨学金」を希望する者は、Web出願登録時に提出の有無を選択した上で、申請書を提出すること。（16ページ参照）
8. 長期履修申請書	本学所定用紙	長期履修制度の利用を希望する者は、Web出願登録時に提出の有無を選択した上で、申請書を提出すること。（17ページ参照）

（注意） ○外国人留学生入学試験は、必要書類が一部異なるため、志願者は「19.外国人留学生志願者注意事項」（32ページ）も必ず確認すること。

○社会人入学試験制度は、必要書類が一部異なるため、志願者は「20.社会人入学試験制度志願者注意事項」（34ページ）も必ず確認すること。

○各提出書類の記入は楷書とし、はっきりとわかりやすく書くこと（消せるボールペンは不可）。

○各提出書類に入力・記入する氏名、生年月日は、戸籍と同一のものとすること。（通称名、呼称は使用できない。）婚姻等により出願書類と各種証明書の氏名が異なる場合は、同一人であることを証明する公文書を添付すること。

○出願期間外のものを受付できない。また、提出書類に不備があった場合にも、受付できないことがあるので注意すること。

○本人の申出による、出願後の書類の変更・追加・返却には一切応じられない。

○本学学部を卒業した者は、2026年10月1日（木）までに必要書類の作成を教務課に申し込むこと。（夏季事務取り扱い休止期間に注意すること。）

○2、3の書類について、日本語以外で書かれている場合は、日本語訳（書式自由）を添えること。

○身体に障害等があり、受験に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に早めに入試センター（042-535-9536）へ申し出て相談すること。

7. 受験票印刷

受験票は、出願受理後「マイページ」より、2026年10月23日（金）午前9時から印刷できるようになります。各自でA4サイズのコピー用紙（白色）にカラー印刷（白黒印刷不可）の上、試験当日に必ず持参してください。

※受験票印刷後、記載内容について必ず確認してください。「Web出願サイト」で登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合や、受験票の印刷可能日時になっても受験票が印刷できないようにならない場合は、至急本学入試センター宛に連絡してください。

※本学からの郵送は行いません。

※Web出願登録した際の受付番号と受験番号は異なりますので、ご注意ください。

【推奨するパソコン環境について】

・推奨するWebブラウザ

- 🔗 Microsoft Edge（互換表示非推奨）
- 🔗 Google Chrome 最新バージョン
- 🔗 Safari 最新バージョン

- ・複数のタブを開いた状態での操作はできません。
- ・スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、ブラウザの種類によっては正常に動作しない可能性があります。
- ・印刷をするための印刷機能を必要としますので、パソコンからのご利用をお勧めいたします。

【出願前の準備や確認】

- ・PDFを表示するにはアドビシステムズ社のAdobe Acrobat Readerが必要です。

【ブラウザ設定の注意点】

・Cookie（クッキー）

Web出願サイトでは登録情報を一時的に保存するために、Cookie（クッキー）という機能を使用しております。

必ずブラウザの設定を「Cookieを受け付ける（有効にする）」設定にしてください。これは、個人情報を持するものではないのでご安心ください。

・JavaScript（ジャバスクリプト）

登録の際の利便性を高めるために、JavaScriptという機能も使用しています。以下を参照し設定を有効にしてください。

《Edgeの場合》

◦Cookieの有効化

Edgeの設定アイコン「…」(詳細) ボタンをクリックし、「設定」をクリックします。「プライバシーとセキュリティ」をクリック⇒Cookieの項目を「Cookieをブロックしない」を選択します。

《Google Chromeの場合》

◦Cookieの有効化

Google Chromeの設定アイコンchrome_settingをクリックし、「設定」をクリックします。

ページの下側で「詳細設定を表示」をクリック⇒「プライバシーとセキュリティ」セクションで「サイトの設定」をクリック⇒「Cookieとサイトデータ」をクリック⇒「ブロック中」の横に表示されるスイッチをオンにします。

◦JavaScriptの有効化

Google Chromeの設定アイコンchrome_settingをクリックし、「設定」をクリックします。

ページの下側で「詳細設定を表示」をクリック⇒「プライバシーとセキュリティ」セクションで「サイトの設定」をクリック⇒「JavaScript」内の「ブロック中」の横に表示されるスイッチをオンにします。

《Safariの場合》

◦Cookieの有効化

メニューバーの「Safari」をクリックし、「環境設定…」をクリック、「プライバシー」をクリックし、「Cookieをブロック」項目の「知らないサイトや広告のみ」にチェックします。

◦ JavaScriptの有効化

メニューバーの「Safari」をクリックし、「環境設定...」をクリック、画面上部の「セキュリティ」アイコンをクリック、「Webコンテンツ」の項目で「JavaScriptを有効にする」にチェックします。

【自宅にパソコンやプリンターがない場合】

- ・ご自宅以外のパソコンやプリンターを使ってご出願ください。
- ・ご自宅以外のプリンターを使用する場合、出願申込・入学検定料支払い完了後に再度インターネット・プリンターの整っている環境からマイページにログインし、印刷してください。

【出願時に登録するメールアドレスについて】

- ・出願時に登録頂くメールアドレス宛に出願登録完了の通知「出願登録案内メール」や入金確認の通知「支払完了メール」が送信されます。
- ・メール本文に含まれるリンクの画面は、パソコン上で開く必要があるためパソコン用のメールアドレスを推奨します。なお、フリーメール（Yahoo!やGoogleなど）のアドレスもご利用可能です。

※携帯電話のメールアドレスですと受信できない可能性があります。

【メールが届かない場合】

- ・登録したメールアドレスの入力間違いが考えられます。また、メール配信の回線経路やメールサービス側の負荷などにより、多少時間がかかることがあります。もしくは、受信テストのメールがウイルスメールや迷惑メールと判断され、通常の受信ボックスに届かずにご覧いただけないケースや、メール自体が届かない場合があります。他の受信フォルダを確認いただくか、ドメイン（@kunitachi.ac.jp、@ientryml.jp）解除設定対応をお願いします。

【出願に際しての注意】

- ・出願資格を満たしていることを確認してください。
- ・出願書類が不備の場合には受理ができないことがありますので、十分注意してください。
- ・出願書類受付期間内に書類を郵送してください。
- ・締切日は必ず募集要項等をご確認ください。
- ・郵送を忘れるとインターネット手続は無効になり出願したことになりませんのでご注意ください。
- ・出願書類及び入学検定料は、一切返還しません。

【出願の入力をいったん中断する場合】

- ・一度ブラウザを閉じた場合や入力をせず30分が経過した場合は、初めから出願登録をする必要がありますのでご注意ください。

【氏名や住所の漢字が入力できない場合】

- ・氏名や住所などの個人情報を入力する際に、漢字が入力できない場合は代替文字かカタカナで入力してください。

【出願内容を確認する場合】

- ・マイページの出願履歴、または入学志願票からご確認ください。

【出願登録後、入力内容の誤りに気付いた場合】

- ・入学検定料のお支払い前であれば、改めて初めから入力し直し、新たに発行された決済番号で入学検定料をお支払いください。
- ・入学検定料お支払い後の場合、ご自分で入力内容の変更はできません。
- ・個人情報の変更にっては、入試センター（042-535-9536）までご連絡ください。
- ・入学検定料のお支払い後に、受験する入試、志望専攻（コース）、試験科目等の出願内容の変更はできません。

【出願書類の印刷方法について】

- ・入学志願票等をマイページからダウンロードし、印刷してください。この時「ページ処理」での、ページの拡大/縮小は「なし」、自動回転と中央配置にチェックを入れて印刷してください。「用紙に合わせる・大きいページを縮小」などとした場合、正式に受け付けられないことがあります。
- ・片面印刷にしてください。（両面印刷は不可）
- ・印刷の際には、以下の要件を満たす紙を使用してください。
 - ☞ 白い普通紙：普通紙にもメーカーによって固有の名前をつけているものがあり、「普通紙」という表示がないものがありますが、一般的には普通紙、PPC用紙、OA共用紙、コピー用紙など表示されています。白色のものを使用してください。
 - ☞ 使用してはいけない紙：フォト用紙、マット紙、光沢紙、厚みのある用紙、色の付いた用紙、切り取りミシンの入った紙
 - ☞ A4サイズ：A4サイズとは、サイズが「210mm×297mm」のものです。文房具店、コンビニエンスストア等で購入してください。

【出願書類の提出方法について】

- ・出願書類の準備が整ったら、マイページより「宛名ラベル」を印刷し、市販の封筒（角形2号サイズ：240mm×332mm）に貼り付けて速達簡易書留またはレターパックプラスにてご郵送ください。
- ・A4サイズの書類は折り曲げずに封筒に入れてください。A3サイズの書類は2つ折りにして封筒に入れてください。

【入学検定料支払いに際しての注意】

- ・「コンビニエンスストア」、金融機関ATM「Pay-easy」もしくは「クレジットカード」でのお支払いが可能です。
- ・「コンビニエンスストア」、「Pay-easy」でお支払いに行くとき、持参するものは次の通りです。
 - ☞ 入学検定料（別途手数料が必要です）
 - ☞ 決済番号
 - ☞ 本人控え
- ・支払方法を選択後に画面に表示される「決済番号」をメモするか画面を印刷してください。（「本人控え」や「出願登録案内メール」でも確認できます。）
- ・入学検定料受付期限を過ぎてからの入金是不可能的。出願登録後、「出願登録案内メール」をチェックしお支払いください。なお、お支払いの際に、別途手数料及び消費税が掛かります。
- ・支払方法を選択したあとに、支払方法の変更はできません。変更したい場合、改めて初めから入力し直してください。
- ・領収書（レシート・バウチャー等）は大切に保管してください。出願書類に同封しないでください。
- ・レジに決済番号を持って行き支払うコンビニエンスストア
セブン-イレブン セイコーマート デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア
- ・店内の端末を利用して支払うコンビニエンスストア
ローソン ミニストップ ファミリーマート
- ・金融機関でペイジーマークの付いているATMで支払う
利用可能なATMは下記URLの「ATMでペイジーが使える金融機関を探す」からご確認ください。
<https://www.pay-easy.jp/where/>

【受験票について】

- ・受験票は郵送しません。マイページから各自A4サイズ用の紙（コピー用紙可）にカラー印刷をしてください。

8. 試験科目表

専攻	コース	専門科目	共通科目
声楽	オペラ歌	一次試験 実技 二次試験 実技	(1)外国語 ※英、独、仏、伊の4言語のうち1言語を選択。 (2)下記から任意の1科目 ・音楽理論(和声) ・西洋音楽史 ※声楽専攻は、一次試験合格者のみ共通科目を受験することができる。
器楽	鍵盤楽器(ピアノ)	実技	
	鍵盤楽器(オルガン)		
	伴奏	実技 初見視奏	
	弦楽器	実技	
	管楽器	実技 初見視奏	
作曲	作品創作	作品提出 作曲	(1)外国語 ※英、独、仏、伊の4言語のうち1言語を選択。 (2)下記から任意の1科目 ・西洋音楽史 ・日本音楽史
	音楽理論	和声 フーガ	
	ソルフェージュ	和声 実技(自由曲演奏、新曲視唱、新曲視奏、誤奏指摘) 小論文	
	音楽デザイン	創作作品提出 研究計画書提出 小論文 口述	(1)外国語(英語) (2)音楽理論(和声) (3)西洋音楽史
音楽学	音楽学	研究計画書提出 論文等提出	(1)外国語 ※英、独、仏、伊の4言語のうち1言語を選択。 (2)下記から任意の1科目 ・音楽理論(和声) ・西洋音楽史 ・日本音楽史
	楽器・音響	筆記 口述	
音楽教育学	音楽療法	研究計画書提出 論文提出 口述	
		研究計画書提出 筆記 口述	

- (注意) ○外国人留学生入学試験は、試験科目が一部異なるため、志願者は「19.外国人留学生志願者注意事項」(32ページ) も必ず確認すること。
- 社会人入学試験制度は、試験科目が一部異なるため、志願者は「20.社会人入学試験制度志願者注意事項」(34ページ) も必ず確認すること。

9. 試験科目概要および試験課題曲目

(14ページの注意事項も参照すること)

専 攻		試 験 科 目 概 要 お よ び 課 題 曲 目
声 楽	オ ペ ラ	・課題曲：モーツァルトのオペラのアリア1曲 ・自由曲：オペラのアリア3曲 (いずれも原語・原調を原則とし、コンサートアリアは除く) 一次試験 自由曲3曲のうち任意のオペラのアリアを1曲歌う (5分以上の曲は途中で切ることがある) 二次試験 (1) 課題曲(モーツァルトのオペラのアリア)を1曲歌う アルトでモーツァルトの適当なオペラのアリアがない場合は、グルック作曲のオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」より、オルフェオのアリアでもよい。 (2) 自由曲のうち一次試験で歌った曲を除いた2曲より1曲歌う (曲目は後日指定する)
	歌 曲	・課題曲：ミサ、オラトリオ、カンタータ等の独唱曲1曲(原語で歌うこと) ・自由曲：歌曲4曲(原語で歌うこと) 一次試験 自由曲4曲のうち任意の歌曲を1曲歌う (4分以上の曲は途中で切ることがある) 二次試験 (1) 課題曲(ミサ、オラトリオ、カンタータ等の独唱曲)を1曲歌う (2) 自由曲のうち一次試験で歌った曲を除いた3曲より2曲歌う (曲目は後日指定する)
	※オペラコース、歌曲コース共通の注意事項 1. 二次試験は一次試験合格者のみが受験できる。 2. 二次試験の演奏時間は、課題曲・自由曲を合わせて8分以内にまとめること。 (オペラコースは計2曲、歌曲コースは計3曲) 3. 二次試験の演奏は、曲の途中で切ることがある。	
器 楽	鍵盤楽器 (ピアノ)	下記(1)及び(2)の両グループよりそれぞれ選曲し、合わせて30分程度のプログラムを提出の上、(1)、(2)の順に演奏する。 (1) バロックから古典派までのピアノ独奏用作品。ただし、7分以上とする。 (2) ロマン派以降のピアノ独奏用作品。
	伴 奏	下記(1)及び(2)の各グループより選曲したプログラムを提出の上、演奏する。ただし、(2)でBを選択した場合は、プログラムは(1)のみを提出する。 (3)は当日指定。 (1) 10分程度の任意のピアノ独奏用作品。 (2) 下記 A, B, Cのいずれかを選択する。(A, Cは共演、Bは弾き歌いとピアノ独奏) A. 声楽系① 10分から15分程度の任意の声楽作品。(ピアノオリジナル伴奏作品) B. 声楽系② 以下の(a)、(b)、(c)を全て演奏すること。 (a) W. A. Mozart: Le Nozze di Figaroより(Bärenreiter新全集)第2幕 No. 11 Cavatina (b) G. Verdi: La Traviataより(Ricordi版)第2幕 No. 7 Finale II 練習番号27より練習番号32の36小節目まで (c) G. Verdi: La Traviataより(Ricordi版)第3幕 No. 8 Scena ed Aria 1小節目より40小節目まで ※オーケストラパート(ヴォーカルスコアのピアノパート)を演奏し、任意のパートを弾き歌いすること。なお(c)はピアノ独奏のみ。 ※譜めくりは演奏者自身で行うこと。 C. 器楽系 10分から15分程度の任意の器楽作品。(ピアノオリジナル伴奏作品) (3) 初見視奏 平易なピアノ独奏用小品。予見(3分)の上、視奏する。
	※鍵盤楽器(ピアノ)コースと伴奏コース共通の注意事項 1. 鍵盤楽器(ピアノ)コース、伴奏コース共に、各課題の中で同一の作曲家による複数の作品あるいは複数の作曲家による複数の作品の組み合わせも可。 2. ソナタの楽章や組曲の抜粋は可。その場合は、演奏する楽章、楽曲を「ピアノ受験曲目届」に明記すること。	

専 攻	試 験 科 目 概 要 お よ び 課 題 曲 目
器 楽	3. 変奏曲の抜粋は不可。 4. 出版されている作品に限る。内部奏法を用いた作品は不可。 5. 繰り返しおよびダ・カーポは自由とする。 6. 鍵盤楽器(ピアノ)コース(1)(2)、及び伴奏コースの(1)は暗譜とするが、伴奏コースの(2)は暗譜の必要なし。 7. 時間の都合により、演奏をカットすることがある。 8. 伴奏コースの(2)のA、Cの共演者は出願者が依頼し、試験に同伴する。また、共演の楽器は、原則として共演者が持参すること。 9. 事前に試験曲の楽譜の提出を求める場合がある。
	鍵盤楽器 (オルガン) J.S.バッハ：トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564 注：楽譜を見てもよい。
	〔ヴァイオリン〕 (1) パガニーニ：24の奇想曲から任意の1曲 (2) ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61 第1楽章(カデンツァ：ヨアヒム又はクライスラー) チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 第1楽章 ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77 第1楽章(カデンツァ：ヨアヒム) メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 第1楽章 シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47 第1楽章 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番ニ長調 作品19 第1、第2楽章 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第2番ト短調 作品63 第1楽章 バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 第1楽章 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番ト短調 作品26 第1楽章 (1)、(2)から各1曲の計2曲を演奏すること。 〔ヴィオラ〕 (1) ブラームス：ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品120-1 (2) ブラームス：ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品120-2 (3) ヒンデミット：ヴィオラ・ソナタ ヘ長調 作品11-4 (1)～(3)のうち任意の1曲 〔チェロ〕 (1) J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV 1009 (2) J.ハイドン：チェロ協奏曲 ニ長調 作品101 (3) ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104 (1)～(3)のうち任意の1曲 〔コントラバス〕 (1) クーセヴィツキー：コントラバス協奏曲 (2) ヴァンハル：コントラバス協奏曲 ニ長調 (3) ボッテシーニ：コントラバス協奏曲 第2番 ロ短調 (1)～(3)のうち任意の1曲 〔ハープ〕 (1) ①C.P.E.バッハ：ソナタの第1楽章 ②ヘンデル：協奏曲の第1楽章 (2) ①フォーレ：アンプロンプチュ ②シュポアー：ファンタジー op.35 ③ピエルネ：アンプロンプチュ カプリス ④ニーノ・ロータ：サラバンドとトッカータ ⑤ヒンデミット：ソナタ ⑥グランジャーニ：ラブソディー (1)、(2)から各1曲の計2曲を演奏すること。
	〔フルート〕 ※(1)は暗譜、(2)の暗譜は任意とする。 次の演奏、および初見視奏。 (1) モーツァルト：フルート協奏曲 ト長調 K. 313 (2) ①ベリオ：セクエンツァ ②カルク・エラート：ソナタ “アパッショナータ” 嬰ヘ短調 op.140 ③カルク・エラート：シャコンヌ op.107-30 ①～③のうち任意の1曲

専 攻		試 験 科 目 概 要 お よ び 課 題 曲 目
器 楽	管 楽 器	以下の管楽器は、次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲の演奏、および初見視奏。ただし、トランペットは次の課題曲2曲と自由曲（無伴奏曲も可）の3曲の演奏、および初見視奏。 【オ ー ボ エ】※課題曲は暗譜、自由曲の暗譜は任意とする。 モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314 【クラリネット】※(1)は暗譜、(2)および自由曲の暗譜は任意とする。 (1) モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622 (2) ドビュッシー：クラリネットのための第一狂詩曲 (1)、(2)のうち任意の1曲 【サクソフォーン】※暗譜は任意とする。 グライツノフ：サクソフォーン協奏曲 【フ ァ ゴ ッ ト】※(1)は暗譜、(2)および自由曲の暗譜は任意とする。 (1) モーツァルト：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191 (2) ウェーバー：ファゴット協奏曲 ヘ長調 作品75 (1)、(2)のうち任意の1曲 【ホ ル ン】※暗譜は任意とする。 (1) モーツァルト：ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調 K. 417 (2) R.シュトラウス：ホルン協奏曲 第1番 変ホ長調 (3) ノイリンク：バガテル (1)～(3)のうち任意の1曲 【トランペット】※暗譜は任意とする。 (1) J. ハイドン：トランペット協奏曲 変ホ長調 第1楽章(管は指定しない) (2) シャルリエ：36の超絶技巧練習曲より No.2(B♭管を使用すること) (1)および(2)の2曲 【トロンボーン】※暗譜は任意とする。 テナートロンボーンの場合 トマジ(Henri Tomasi)：トロンボーン協奏曲 バストロンボーンの場合 ネリベル(Vaclav Nelhybel)：バストロンボーン協奏曲 【ユーフォニアム】※暗譜は任意とする。 J. ホロヴィッツ：協奏曲 (Novello) 【チ ュ ー バ】※暗譜は任意とする。 R. ヴォーン・ウィリアムズ：チューバ協奏曲 (OXFORD UNIVERSITY PRESS)
	打 楽 器	次の(1)または(2)を選択して演奏、および初見視奏。※暗譜は任意とする。 (1) ジョリヴェ：打楽器とオーケストラのための協奏曲 (2) 次の①②を両方演奏すること。 ①クレストン：マリンバとオーケストラのための協奏曲 ②ドゥレクリューズ：12のエチュード（小太鼓のための）より1
作 曲	作品創作	(1) 作品提出（楽器編成の異なる2曲の楽譜を提出すること）※ (2) 与えられた音列によるピアノ曲（様式は任意）の作曲 [6時間]（ピアノの使用を認める。ただし、ピアノの内部に触れることはできない。） ※作品は2026年10月13日(火)午後5時までに入試センターへ提出すること。 郵送の場合は必着。データ(アップロード)での提出を希望する場合は10月1日(木)までに入試センター (nyugaku@kunitachi.ac.jp) へ連絡すること。
	音楽理論	(1) 和声 [3時間] (2) 与えられた主題によるフーガの作曲 [6時間] (1)(2)ともにピアノの使用を認める。
	ソルフェージュ	(1) 和声 [3時間]（ピアノの使用を認める） (2) 実技 (a) 自由曲演奏（4～5分程度）＊ (b) 新曲視唱 (c) 新曲視奏＊ (d) 誤奏指摘（ピアノ演奏による） （次ページへ続く）

専 攻		試 験 科 目 概 要 お よ び 課 題 曲 目
作 曲	ソルフェージュ	* (a)、(c)は原則としてピアノによる。予め申請し、許可された他の楽器でも可。(この場合は早めに入試センターへ問い合わせの上、2026年10月1日(木)までに申請を行うこと) (3) 小論文 [1時間]
	音 楽 デザイン	(1) 創作作品提出 (二点以内) ※ (2) 創作作品の解説提出 (A4版1～2枚、字数制限なし、図表の使用は自由) ※ (3) 研究計画書提出 研究テーマ、背景と目的、研究方法とスケジュール、予想される成果などを記したもの (A4版1～2枚、字数制限なし、図表の使用は自由) ※ (4) 小論文 [90分] (5) 口述試験 (提出作品および研究計画に関するプレゼンテーション15分を含む) [30分] * (5)のプレゼンテーションでは、音響映像再生機器 (CD、DVD、Blu-ray、および持込PC接続) の使用が可能。楽器演奏は不可。 ※作品および研究計画書は2026年10月13日 (火) 午後5時までに入試センターへデータで提出すること。郵送の場合は必着。データ形式は次の通りとする。 オーディオ: AIFF, WAV (48kHz/24bit/ステレオ)。ムービー: MP4, MOV (一点あたり500MB以下)。書類: PDF。アップロードでの提出を希望する場合は10月1日(木)までに入試センター(nyugaku@kunitachi.ac.jp)へ連絡すること。
音 楽 学	音 楽 学	(1) 研究計画書提出 研究テーマ、研究テーマの選定理由、研究のおおまかな見通しなどを800字程度 (2,000字以内) で記したもの。 ※ (2) 論文提出 音楽学の専門的テーマによる論文 (8,000字以上、既発表のものでも可。要旨を添付すること。) ※ (3) 筆記試験 音楽美学、音楽民族学、西洋音楽史、日本音楽史から1科目選択 [90分] (4) 口述試験 [約30分]
	楽器・音響	(1) 研究計画書提出 研究テーマ、研究テーマの選定理由、研究のおおまかな見通しなどを800字程度 (2,000字以内) で記したもの。 ※ (2) 成果提出 楽器学、楽器音響学、音楽音響学のいずれかの分野の専門的テーマによる論文 (製作楽器を含めてもよい。測定/計測/調査等に基づくデータを含む6,000字以上。既発表のものでも可。) ※ (3) 筆記試験 楽器学、楽器音響学、音楽音響学から1科目選択 [90分] (4) 口述試験 [約30分] * (2)の提出論文に製作楽器を含める者は、口述試験当日に楽器を持参すること。(大型楽器など車での入構が必要となる場合は、出願時に申し出ること。)
	音楽療法	(1) 研究計画書提出 研究テーマ、テーマ設定の理由、先行研究の要約、研究方法、研究のおおまかな見通しなど (A4版1～2枚: 2,000字程度) ※ (2) 論文提出 指定された音楽療法関連書籍に関する評論 (A4版4枚: 6,000字程度) 書籍タイトル等は10月中旬に出願者に連絡する ※ (3) 口述試験 [約20分] 3分ほどの弾き歌い (暗譜またはコード譜の持ち込み可。ピアノあり) を含む。音楽療法セッションで使う曲 (歌謡曲、演歌、J-popなど任意の選曲) を1曲選ぶこと。
	※出願者は修士課程で希望する指導教員に連絡をとり、研究内容について事前に相談すること。連絡先がわからない場合は、入試センターに問い合わせてください。 ※音楽学コース、楽器・音響コースの研究計画書、論文は2026年10月30日(金)午後5時までに、音楽療法コースの研究計画書は2026年10月13日(火)午後5時までに入試センターへ提出すること。郵送の場合は必着。 ※ただし、音楽療法の(2)論文については、提出期限を別途、出願者へ連絡する。	

音楽 教育学		(1) 研究計画書提出 研究テーマ、テーマ設定の理由、先行研究の要約、研究方法、研究のおおまかな見通しなど（A4版1～2枚：2,000字程度）※ (2) 筆記試験 [90分] 音楽教育に関する「基礎的な知識・理解」および「思考力・判断力・表現力等」を問う記述問題 (3) 口述試験 [約20分] 提出書類および筆記試験で記述した内容を中心とした口頭試問
	※研究計画書は2026年10月13日(火)午後5時までに入試センターへ提出すること。 郵送の場合は必着。	
各専攻共通科目		専攻により受験科目が異なるため、9ページの試験科目表を必ず確認すること。 [受験科目一覧] ・外国語 [60分] ※辞書1冊のみ持ち込み可（電子辞書は不可） ・音楽理論（和声） [60分] ・西洋音楽史 [60分] ・日本音楽史 [60分]

- (注意) ○器楽曲で楽章の指定がないものは、その曲の全楽章を演奏すること。ただし、試験当日に演奏楽章を指定したり、演奏を中断したりすることもある。
- 演奏は暗譜で行うこと。(特に指示のある場合や、器楽専攻伴奏コースの課題曲(2)は除く。)
- 伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者は出願者が同伴する。
- 伴奏者や器楽専攻伴奏コースの共演者は、同入学試験の出願者でない者、他の出願者の伴奏者（共演者）でない者が望ましい。(試験日・時間が重なっても考慮はできない。)
- 出願後、受験曲や志望する専攻の変更は認めない。
- 指定された課題曲以外を演奏した場合は失格となるので、注意すること。
- 受験曲の選曲に際して不明な点がある場合は、早めに入試センターへ問い合わせること。

10. 試験実施期日（予定）および試験場

月 日	専攻（コース）・試験科目	
11月13日(金)	声楽（オペラ／歌曲）	一次試験（実技）
	器楽（ピアノ）	実技
	作曲（音楽理論／ソルフェージュ）	和声
11月14日(土)	※声楽一次試験合格発表・声楽二次試験受験曲目発表(午後2時、本部棟北側掲示板)	
	器楽（ピアノ／伴奏）	実技／初見視奏（伴奏のみ）
	作曲（作品創作／音楽理論）	作曲／フーガ
	作曲（ソルフェージュ）	小論文／実技
	作曲（音楽デザイン）	小論文／口述
	音楽学（音楽療法）	口述
	音楽学（音楽学／楽器・音響）	筆記／口述
11月15日(日)	音楽教育学	筆記／口述
	共通科目（外国語／音楽理論／音楽史）	
11月16日(月)	声楽（オペラ／歌曲）	二次試験（実技）
	器楽（弦楽器／管楽器／打楽器）	実技／初見視奏（管打のみ）
11月17日(火)	声楽（オペラ／歌曲）	二次試験（実技）

※器楽(オルガン)の試験日程（実技）は出願後に通知します。(ただし上記日程内で行います。)

※留学生の面接は上記日程内のいずれかで行います。

試験場：国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

(注意) ○試験日程詳細については、出願期間後に一斉メールでお送りする入試日程表（実施要項）に明記します。出願登録時に登録いただいたメールアドレス宛に送付します。10月末日までに届かない場合は入試センターまで照会してください。

○時間、試験場等に変更が生じた場合は、学内に掲示します。

11. 合格発表

期 日：2026年11月19日（木） 午前10時

マイページ内「可否照会サイト」において可否を発表いたします。

マイページへのリンクは出願登録案内／支払完了メールに記載されています。

（注意）○電話等による問い合わせには応じられません。

○合格者は、受験票を提示の上、合格証および入学手続上必要な書類を受け取ってください（受取は原則、平日のみ）。郵送を希望の場合は入試センターまであらかじめご相談ください。

合格発表後、一部の専攻(コース)で追加募集を行います。詳細は決定次第、本学Webサイトでお知らせします。（試験実施は2027年2月を予定。）

不合格者にはWeb出願登録時に入力いただいた住所に入試成績概要を送付します。ただし、声楽専攻の一次試験不合格者には送付しません。

12. 入学手続

2026年11月24日(火)～12月9日(水)の間に下記を提出(納入)してください。ただし、奨学生候補者は採否通知を確認した後、手続きを行ってください。（詳細は次項13.を参照のこと。）また、長期履修制度利用者の納入については、17ページ項目16.をご参照ください。

（1）学費（下記金額は2027年度のものです。）（単位：円）

費目区分	本学卒業生		他大学卒業生	
	1年次	2年次	1年次	2年次
入学金	150,000	—	300,000	—
授業履修費	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
施設設備費	280,000	280,000	280,000	280,000
維持運営費	150,000	150,000	150,000	150,000
合 計	1,680,000	1,530,000	1,830,000	1,530,000

※2年次には同調会入会金20,000円が上記金額に加わります。（在学中1回のみ）

ただし、本学卒業生の方は除きます。

※学費は2回分納となります。

		本学卒業生	他大学卒業生
1年次	前期分（入学手続時）	915,000	1,065,000
	後期分（10月末日）	765,000	765,000

※「国立音楽大学大学院奨学金」受給者の学費は、13.(4)奨学金受給後の学費を参照のこと。

（2）誓約書（保証人連署）

（3）個人情報等の取扱いに関する同意書（保証人連署）

※2026年12月9日(水)までに提出してください。

（注意）○期日内に手続きをしない場合は、棄権したものとみなし、入学を許可しません。

○上記提出物に加えて、別途提出が必要な書類があります。詳細は2月中旬頃に郵送でお知らせします。新年度の日程等もその時に通知する予定です。

○入学手続きを完了した者が入学を辞退する場合は、返還申し込み期日（2027年2月12日(金)）までに、事由を明らかにして所定の手続をしてください。既納の学費の内、入学金を除いた金額を返還します。手続についての詳細は、入試センター(042-535-9536)までお問い合わせください。

なお、返還手続きの最終期限は2027年3月31日（水）ですが、新年度の授業運営準備のため、原則として2027年2月12日（金）までに手続きを行ってください。

13. 国立音楽大学大学院奨学金について

奨学金を希望する者は、下の各項を参照の上、出願時に別紙申請書を提出してください。
(社会人入学試験制度志願者を除く)

(1) 内容

- ①入学時の成績優秀者に対して、授業履修費（前項の表を参照）のうち1,000,000円を奨学金として支給します。（原則として返還の義務なし。）
- ②採用枠は、各専攻より1名以内とします。ただし器楽専攻については、鍵盤楽器・伴奏コースから1名以内、弦楽器・管楽器・打楽器コースから1名以内としますので、奨学金受給者の総数は最大6名となります。

(2) 審査

- ①一次審査：各専攻より1名以内（器楽専攻については、鍵盤楽器・伴奏コースから1名以内、弦楽器・管楽器・打楽器コースから1名以内）を奨学生候補者として選抜。
- ②二次審査：面接により決定。

(3) 手続

- ①「国立音楽大学大学院奨学金申請書」に必要事項を記入の上、出願書類と共に提出してください。
※この時点において、申請書が提出されない場合は奨学金を希望しないものとみなします。
- ②一次審査の合格者の発表：本奨学生候補者は入試合格者発表時（11月19日(木)）にマイページ内「合否照会サイト」においてお知らせします。
※奨学生候補者に選抜された方へのみ、お知らせが表示されます。
- ③二次審査(面接)日：11月24日(火)午後6時～開始予定。
- ④奨学生発表：11月27日(金)※合否に関わらず、郵送・掲示にてお知らせします。
- ⑤入学手続：11月24日(火)～12月9日(水)
※奨学生候補者は、採否通知が郵送されてから手続きをしてください。

(4) 奨学金受給後の学費(下記金額は2027年度のものです。)

(単位：円)

費目区分	本学卒業生		他大学卒業生	
	1年次	2年次	1年次	2年次
入学金	150,000	—	300,000	—
授業履修費	100,000	100,000	100,000	100,000
施設設備費	280,000	280,000	280,000	280,000
維持運営費	150,000	150,000	150,000	150,000
合計	680,000	530,000	830,000	530,000

※2年次には同調会入会金20,000円が上記金額に加わります。(在学中1回のみ)

ただし、本学卒業生の方は除きます。

※学費は2回分納となります。(奨学金受給後の金額)

		本学卒業生	他大学卒業生
1年次	前期分(入学手続時)	415,000	565,000
	後期分(10月末日)	265,000	265,000

14. 器楽専攻鍵盤楽器（ピアノ）コースのレッスン時間について

社会人入学試験制度合格者を含む器楽専攻鍵盤楽器（ピアノ）コースの入試成績上位3名程度の合格者は、入学後、1年次のレッスン時間を105分とします（通常1年次60分、2年次105分）。

15. 器楽専攻弦楽器コースのレッスン時間について

器楽専攻弦楽器コースの入学試験において、特別に優秀と認められた合格者は、入学後、1年次のレッスン時間を90分とします（通常1年次45分、2年次90分）。

16. 長期履修制度について

長期履修制度を希望する者は、下の各項を参照の上、出願時に所定の申請書のほか必要書類を提出してください。

（1）主旨

本研究科の標準履修期間である2年を、原則2年分の学納金で、4年まで延長することができます。

※音楽学専攻または音楽教育学専攻に限ります。

（2）対象者

次のア～ウのいずれかに該当する者。

ア 学校や会社等に勤務している者（非常勤、非正規雇用を含む。）

イ 介護等の家庭の事情で2年間での履修が困難な者

ウ その他、やむを得ない事情を有すると本研究科が認める者

（3）認める修業年限

入学時より3年または4年。ただし、休学期間は算入されません。

（4）提出書類

①長期履修制度申請書（所定用紙※）

※本学Webサイト(<https://www.kunitachi.ac.jp/>)（入学案内>大学院 入学案内>修士課程）より所定用紙をダウンロードしてください。

②在職証明書又は在職が確認できる書類（職業を理由に長期履修制度を申請する場合）

③事由を証明する書類

例：介護の場合、住民票＋要介護認定書の写しなど

④その他、本研究科が必要と認める書類

（5）手続

①長期履修制度申請書等、必要な書類を出願書類と共に提出してください。

※この時点において申請書が提出されない場合は、長期履修制度を希望しないものとします。（出願後の申請は認めません。）

②入試期間中に面接審査を実施します。（日程は出願後に通知します。）

※なお、長期履修制度の利用と合否判定は無関係です。

③許可者発表

入試合格者発表時（11月19日（木））に個別にお知らせします。

（6）学納金

入学金を除く授業履修費、施設設備費、維持運営費の標準修業年限（2年）分の額を、長期履修期間（3年または4年）で割った額を年度ごとに、納入していただきます。

詳細は経理課（042-535-9528）までお問い合わせください。

※割った際に、端数が出た場合は、初年度にその端数を合算して納入していただきます。

※入学金は初年度に納入していただきます。

17. 教育課程の概要

1. 専攻における充実したレッスン等の個人指導はもとより、専門に関わる少人数のさまざまな専門研究、専門演習といった科目によって、プロフェッショナルな演奏、創作の追求ができます。
2. 声楽専攻・器楽専攻・作曲専攻では、「研究法Ⅰ」「研究法Ⅱ」「研究法Ⅲ」が開講され、課題研究報告の作成に取り組みます。（作曲専攻（作品創作コース）は「研究法Ⅰ」「研究法Ⅱ」までの開講）

3. ユニークな授業は「テーマ別演習」です。ここでは専攻領域を横断する多様なテーマに応じた重点的な研究を行います。

この「テーマ別演習」は2年間を目途に研究を推進し、その後随時新たな研究テーマが加えられる予定です。

○共通科目

必修	研究法ⅠⅡⅢ(声楽・器楽・作曲専攻(作品創作コースは、研究法ⅠⅡ)のみ)、テーマ別演習AⅠⅡ・BⅠⅡ
選択	エディション研究AB、指導法、プロジェクトAⅠⅡ・BⅠⅡ

○他専攻分野履修可能科目

選択	作品研究(器楽)ⅠⅡ、チェンバロ演習、原典講読(鍵盤楽器)ⅠⅡ、ピアノ教育研究ⅠⅡ、音楽テクノロジーⅠⅡ、スコア・リーディングⅠⅡ、フーガ実習ⅠⅡ、和声実習ⅠⅡ、古典対位法ⅠⅡ、原典講読(作曲)ⅠⅡ、楽曲分析ⅠⅡ、ソルフェージュ特殊研究ⅠⅡ、作曲家作品研究ⅠⅡ、ライブ・エレクトロニクス実習、Research in EnglishⅠⅡ、音楽学研究法Ⅰ～Ⅳ、音楽美学研究AB、音楽民族学研究AB、西洋音楽史研究AB、アジア音楽史研究AB、日本音楽史研究AB、楽器学研究AB、楽器音響学研究AB、演奏科学研究ⅠⅡ、音楽教育内容論AB、音楽教育方法論AB、音楽教育実践演習AB、音楽教育教材研究AB
----	--

○修了要件外科目

器楽専攻 (鍵盤楽器コース)	器楽系伴奏研究Ⅰ～Ⅳ、声楽系伴奏研究(歌曲)／(コレペティツィオン)Ⅰ～Ⅳ
器楽専攻 (伴奏コース)	器楽系伴奏研究Ⅰ～Ⅳ、声楽系伴奏研究(歌曲)／(コレペティツィオン)Ⅰ～Ⅳ 鍵盤楽器ソロ研究AⅠⅡ・BⅠⅡ
器楽専攻 (弦管打コース)	オーケストラA～D

(注意) 上記以外にも、修了要件外ではあるが、一部の学部科目(選択外国語科目、学部聴講科目等)の履修を認める。科目履修費を別途納める必要はない。

○各専攻必修科目を含め30単位以上を修得しなければならない。

○年度により開講されない科目がある。

以下（次ページ以降含む）のカリキュラム表は、2026年度入学生対象のものです。変更の可能性もあります。

○専攻（コース）科目

〈声楽専攻(オペラコース)〉

	1 年次	2 年次	
必修科目	声楽演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）		
	オペラ研究（レパートリー研究）Ⅰ～Ⅳ		
	作品研究（声楽）Ⅰ・Ⅱ		
		オペラ研究授業発表会	（大学院オペラ）
			修了演奏
	研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）		
	（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）	研究報告提出
	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ	
	舞台発音発声法Ⅰ・Ⅱ、舞台表現技術演習（ボディーテクニック）Ⅰ・Ⅱ、舞台表現技術演習（身体表現）Ⅰ・Ⅱ、舞台表現技術演習（日舞）、歌曲研究（日本語／独語／伊語／仏語）AⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ、オラトリオ研究Ⅰ・Ⅱ、声楽特殊講義A・B		
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ		
	他専攻分野履修可能科目		

〈声楽専攻(歌曲コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	声楽演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）	
	オラトリオ研究Ⅰ～Ⅳ	
	作品研究（声楽）Ⅰ・Ⅱ	
	（大学院 オラトリオ研究発表会）	（歌曲コース・ オラトリオコンサート）
	中間発表会	修了演奏
	研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）	
選択科目	（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）
	研究報告提出	
	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
選択科目	歌曲研究（日本語／独語／伊語／仏語）AⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ、 オペラ研究（レパートリー研究）Ⅰ・Ⅱ、舞台発音発声法Ⅰ・Ⅱ、 舞台表現技術演習（ボディーテクニック）Ⅰ・Ⅱ、 舞台表現技術演習（身体表現）Ⅰ・Ⅱ、 舞台表現技術演習（日舞）、声楽特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	

〈器楽専攻(鍵盤楽器コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	器楽（鍵盤楽器）演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）	
	鍵盤楽器ソロ研究AⅠ・AⅡ	鍵盤楽器ソロ研究BⅠ・BⅡ （オルガンのみ）
	ピアノ協奏曲研究Ⅰ・Ⅱ（ピアノのみ）	
	室内楽演習Ⅰ・Ⅱ	
	作品研究（器楽）Ⅰ・Ⅱ	
		中間発表会
		修了演奏
	研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）	
	（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）
		研究報告提出
選択科目	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
	室内楽演習Ⅲ・Ⅳ	
	チェンバロ演習、原典講読（鍵盤楽器）Ⅰ・Ⅱ、ピアノ教育研究Ⅰ・Ⅱ、 器楽（鍵盤楽器）特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	
		鍵盤楽器ソロ研究BⅠ・BⅡ （ピアノのみ）

〈器楽専攻(伴奏コース)〉

		1 年次	2 年次
必修科目		器楽（鍵盤楽器）演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）	
		器楽系伴奏研究Ⅰ～Ⅳ	
		声楽系伴奏研究（歌曲）Ⅰ～Ⅳ 声楽系伴奏研究（コレペティツィオン）Ⅰ～Ⅳ （声楽系の学生はいずれかを選択必修）	
		室内楽演習Ⅰ・Ⅱ	
		作品研究（器楽）Ⅰ・Ⅱ	
			中間発表会
			修了演奏
		研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）	
		（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）
			研究報告提出
選択科目		テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
		室内楽演習Ⅲ・Ⅳ	
		チェンバロ演習、原典講読（鍵盤楽器）Ⅰ・Ⅱ、ピアノ教育研究Ⅰ・Ⅱ、器楽（鍵盤楽器）特殊講義A・B	
		エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
		他専攻分野履修可能科目	

〈器楽専攻(弦管打楽器コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	器楽（弦管打）演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）	
	弦管打研究（レパートリー研究）Ⅰ～Ⅳ	
	室内楽演習Ⅰ・Ⅱ	
	作品研究（器楽）Ⅰ・Ⅱ	
		中間発表会
		修了演奏
	研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）	
	（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）
		研究報告提出
	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
選択科目	室内楽演習Ⅲ・Ⅳ	
	器楽（弦管打）特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	

〈作曲専攻(作品創作コース)〉 研究報告か修士論文を選択

		1 年次	2 年次
必修科目		作品創作演習Ⅰ～Ⅳ（個人指導）	
		作曲法研究Ⅰ～Ⅳ	
		作曲家作品研究Ⅰ・Ⅱ	
		中間発表会	修了演奏 (作品提出)
		研究法Ⅰ・Ⅱ（課題研究／修士論文指導）	
		(第一回 論文題目 研究計画 提出)	(第二回 論文題目 研究計画 提出)
選択科目		修士論文 研究報告 提出	
		テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
		音楽デザイン研究Ⅰ・Ⅱ	
		作曲特殊研究Ⅰ・Ⅱ、楽曲分析Ⅰ・Ⅱ、原典講読(作曲)Ⅰ・Ⅱ、 フーガ実習Ⅰ・Ⅱ、和声実習Ⅰ・Ⅱ、古典対位法Ⅰ・Ⅱ、 スコア・リーディングⅠ・Ⅱ、音楽テクノロジーⅠ・Ⅱ、 ソルフェージュ特殊研究Ⅰ・Ⅱ、作曲特殊講義A・B	
		ライブ・エレクトロニクス実習、Research in EnglishⅠ・Ⅱ、 エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
		他専攻分野履修可能科目	

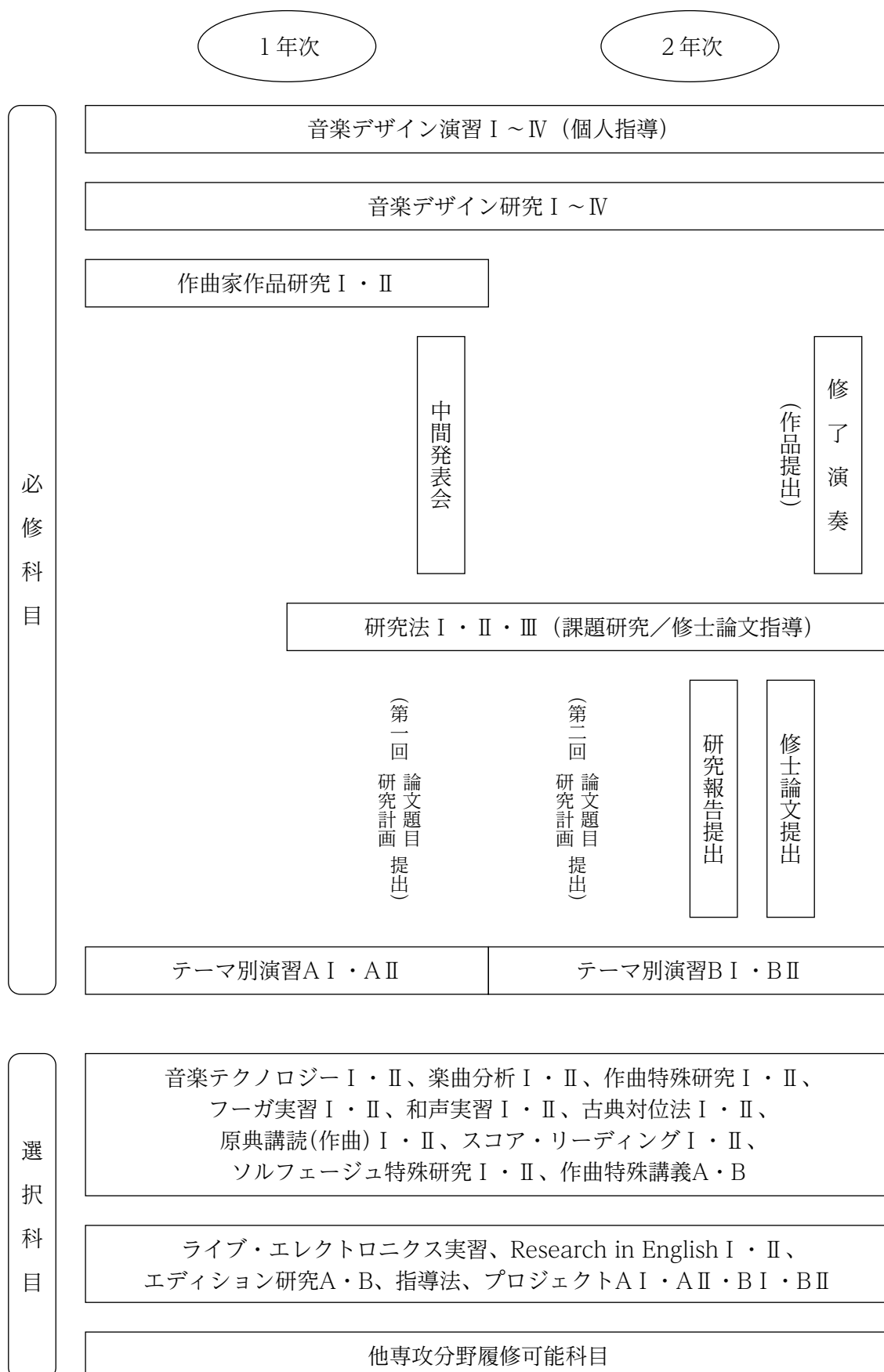
〈作曲専攻(音楽理論コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	音楽理論演習 I ~ IV (個人指導)	
	作曲法研究 I ~ IV	
	作曲家作品研究 I・II	
	中間発表会	(作品提出) 修了演奏
	研究法 I・II・III (修士論文指導)	
	(第一回論文題目提出)	(第二回論文題目提出) 修士論文提出
	テーマ別演習A I・A II	テーマ別演習B I・B II
選択科目	フーガ実習 I・II、和声実習 I・II、古典対位法 I・II、 原典講読(作曲) I・II、楽曲分析 I・II、作曲特殊研究 I・II、 スコア・リーディング I・II、音楽テクノロジー I・II、 ソルフェージュ特殊研究 I・II、作曲特殊講義A・B	
	ライブ・エレクトロニクス実習、Research in English I・II、 エディション研究A・B、指導法、プロジェクトA I・A II・B I・B II	
	他専攻分野履修可能科目	

〈作曲専攻(ソルフェージュコース)〉

		1 年次	2 年次
必修科目		ソルフェージュ演習Ⅰ～Ⅳ（個人指導）	
		ソルフェージュ研究Ⅰ・Ⅱ	
		中間発表会	（作品提出） 修了演奏
		研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（修士論文指導）	
		（第一回論文題目提出）	（第二回論文題目提出） 修士論文提出
選択科目		テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
		スコア・リーディングⅠ・Ⅱ、作曲家作品研究Ⅰ・Ⅱ、フーガ実習Ⅰ・Ⅱ、和声実習Ⅰ・Ⅱ、古典対位法Ⅰ・Ⅱ、楽曲分析Ⅰ・Ⅱ、作曲特殊研究Ⅰ・Ⅱ、原典講読(作曲)Ⅰ・Ⅱ、音楽テクノロジーⅠ・Ⅱ、ソルフェージュ特殊研究Ⅰ・Ⅱ、作曲特殊講義A・B	
		ライブ・エレクトロニクス実習、Research in EnglishⅠ・Ⅱ、エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
		他専攻分野履修可能科目	

〈作曲専攻(音楽デザインコース)〉 研究報告か修士論文を選択



〈音楽学専攻(音楽学コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	音楽学演習 I ～ IV（個人指導）	
	音楽学研究法 I ～ IV（総合ゼミ）	
	（第一回論文題目提出）	（第二回論文題目提出）
	修士論文提出	
	テーマ別演習A I ・ A II	テーマ別演習B I ・ B II
選択科目	音楽美学研究A ・ B、音楽民族学研究A ・ B、西洋音楽史研究A ・ B、アジア音楽史研究A ・ B、日本音楽史研究A ・ B、楽器学研究A ・ B、楽器音響学研究A ・ B、音楽療法特論 I ～ IV、演奏科学研究 I ・ II、音楽学特殊講義A ・ B、楽器・音響特殊講義A ・ B、音楽療法特殊講義A ・ B	
	エディション研究A ・ B、指導法、プロジェクトA I ・ A II ・ B I ・ B II	
	他専攻分野履修可能科目	

〈音楽学専攻(楽器・音響コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	楽器・音響演習Ⅰ～Ⅳ（個人指導）	
	音楽学研究法Ⅰ～Ⅳ（総合ゼミ）	
	（第一回論文題目提出）	（第二回論文題目提出）
	修士論文提出	
	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
選択科目	楽器学研究A・B、楽器音響学研究A・B、音楽美学研究A・B、 音楽民族学研究A・B、西洋音楽史研究A・B、アジア音楽史研究A・B、 日本音楽史研究A・B、音楽療法特論Ⅰ～Ⅳ、演奏科学研究Ⅰ・Ⅱ、 楽器・音響特殊講義A・B、音楽学特殊講義A・B、音楽療法特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	

〈音楽学専攻(音楽療法コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	音楽療法演習Ⅰ～Ⅳ（個人指導）	
	音楽学研究法Ⅰ～Ⅳ（総合ゼミ）	
	（第一回論文題目提出）	（第二回論文題目提出）
	修士論文提出	
	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
選択科目	音楽療法特論Ⅰ～Ⅳ、音楽美学研究A・B、音楽民族学研究A・B、西洋音楽史研究A・B、アジア音楽史研究A・B、日本音楽史研究A・B、楽器学研究A・B、楽器音響学研究A・B、演奏科学研究Ⅰ・Ⅱ、音楽療法特殊講義A・B、楽器・音響特殊講義A・B、音楽学特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	
修了要件外	音楽療法に関する科目	
	※音楽療法に関する科目の履修には、別途履修費が必要です。	

〈音楽教育学専攻〉

	1 年次	2 年次
必修科目	音楽教育学研究Ⅰ～Ⅳ（個人指導）	
	音楽教育研究法Ⅰ～Ⅳ	
	（第一回論文題目提出）	（第二回論文題目提出）
	修士論文提出	
	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
選択科目	音楽教育内容論A・B、音楽教育方法論A・B、音楽教育実践演習A・B、 音楽教育教材研究A・B、音楽教育学特殊講義A・B、 音楽教育実践特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	

18. 学位および資格

- 修了者には、修士（音楽）の学位を授与する。
- 高等学校教諭一種免許状（音楽）または中学校教諭一種免許状（音楽）取得者（取得資格のある者を含む）で、教科及び教科の指導法に関する科目を24単位以上修得し、修士課程を修了した者（修了見込者を含む）は、修了時に高等学校教諭専修免許状（音楽）または中学校教諭専修免許状（音楽）取得の申請ができる。
- 音楽学専攻（音楽療法コース）の者が、所定の科目を修得することで認定音楽療法士の受験資格を取得できる。

19. 外国人留学生志願者注意事項

（1）出願要件（出願資格）

1. 入学時までに入出国管理および難民認定法による「留学」の在留資格を有する者。ただし、「永住者」を除く。
2. 2ページ「5.応募資格」(1)～(6)のいずれかに該当すること。
3. 確実な身元保証人がいること。身元保証人は、日本国内に居住し、一家計を立てる成年者で、志願者の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者であること。
4. 日本語能力試験（JLPT）を受験しており、N2以上に合格した者。

（2）出願書類

「本学所定用紙」は本学Webサイト（<https://www.kunitachi.ac.jp/>）（入学案内＞大学院 入学案内＞修士課程（外国人留学生入試））からダウンロードしてください。

その際、出願書類の氏名・生年月日は、必ず旅券（パスポート）に記載されているものと同一（氏名はアルファベット表記）にしてください。異なる場合は、出願書類として認めません。

- A. 4～5ページ「(3)出願書類」に記載されている出願に必要な書類等のうち、「1. 志願票」、「2. 成績証明書」、「3. 卒業（見込）証明書」、「4. 声楽受験曲副票」、「5. ピアノ受験曲目届」、「6. 弦管打楽器受験曲目届」、「7. 奨学金申請書」（希望者のみ）
※「2. 成績証明書」、「3. 卒業見込証明書」について、日本語以外による証明の場合は日本語訳を添付する。
- B. 推薦書（書式自由）
出身学校長、または出身学校の指導教員が作成したもの（出身学校は、大学学部相当であること）。
※日本語以外による証明の場合は日本語訳を添付する。
- C. 日本語試験関係書類
日本語能力試験（JLPT）の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」
※N2以上合格のものとする。
※1回分のみ提出すること。
※取得年度は問わない。また、写しではなく、原本を提出すること。
- D. 身元保証書（本学所定用紙）
保証人は日本に居住している者で、試験期間中・在学中の身元および経費の一切について保証できる者。
なお、身元保証人の保証能力を示す資料の提出を求めることがある。
また、保証人が在日外国人の場合は、その者の在留カードの写し（両面）を添付する。
- E. 在留カードの写し（両面）
- F. 入国査証の写し
出願時に有している場合のみ提出

G. 旅券（パスポート）身分事項ページの写し

H. 外国人志願者調書（本学所定用紙）

(3) 出願及び受験に関する注意

1. 外国から出願する者は、できるだけ早めにWeb出願登録を行い、出願書類は余裕を持って発送すること。なお、書類は追跡可能な方法で郵送すること。
2. 入学検定料の支払いにかかるすべての手数料は本人負担とし、手数料を除いて日本円で50,000円となるように支払うこと。
3. 受験の際、在留カードを持参すること。

(4) 試験科目【一般入試課題については10～14ページ「9.試験科目概要および試験課題科目」参照】

専攻		試験	専攻試験	共通科目 ※3	面接	日本語試験
声楽			2027年度一般入試課題		実施	※4
器楽	鍵盤楽器伴奏		2027年度一般入試課題	(1)下記から任意の1科目 ・音楽理論（和声） ・西洋音楽史	実施	※4
	弦管打楽器		2027年度一般入試課題 (管打楽器は初見視奏含む)		実施	※4
作曲	作品創作 音楽理論 ソルフェージュ		2027年度一般入試課題 (小論文などの日本語の部分は、英語に替えても可)	(1)西洋音楽史	実施	※4
	音楽デザイン			(1)音楽理論（和声） (2)西洋音楽史		※4
音楽学			●論文(事前提出)※1 ●小論文(研究計画について日本語で記述)※2 ●口述試験(小論文に基づく)			※4
音楽教育学			●論文(事前提出)※1 ●小論文(研究計画について日本語で記述) ●口述試験(小論文に基づく)			※4

※1 専門的テーマによる論文。日本語または英語で提出すること。日本語の場合は8,000字程度、英語の場合は3,500語程度とする。要旨を添付すること。

※2 音楽療法コースは、口述試験に3分ほどの弾き歌い（暗譜またはコード譜の持ち込み可。ピアノあり）を含む。音楽療法セッションで使う曲（歌謡曲、演歌、J-popなど任意の選曲）を1曲選ぶこと。

※3 外国人留学生志願者は、共通科目の外国語試験は受験不要。

※4 日本語試験は、日本語能力試験の成績により判定を行う。

作曲専攻の作品（音楽デザインコースは作品と研究計画書）、音楽学専攻（音楽療法コース）、音楽教育学専攻の論文は、2026年10月13日（火）16時までに、音楽学専攻（音楽学コース、楽器・音響コース）の論文は2026年10月30日（金）16時までに入試センターに提出すること。（郵送の場合は必着）

(5) 試験日程

面接以外の試験については一般入試と同一とし、面接試験の日程・時間については出願後に連絡をする。

(6) 合格後に関する注意

合格発表後、本学入試センター窓口にて、合格証および入学手続書類を受け取ること。入学手続の遅延を防ぐため、内容を速やかに確認すること。

授業開始後一週間を過ぎても来学しない場合は入学を取り消す。

20. 社会人入学試験制度志願者注意事項

(1) 制度の趣旨

社会経験を有する学修者の受け入れ、多様な学修背景に対応した大学院教育の充実と社会人の学び直し（リカレント教育）の促進を目的とする。

(2) 出願要件（出願資格）

1. 入学時満25歳以上の者。
2. 2ページ「5. 応募資格」(1)～(6)のいずれかに該当すること。ただし大学卒業見込みの者を除く。
3. (外国人留学生) 入学時までに入出国管理および難民認定法による「留学」の在留資格を有する者。ただし、「永住者」を除く。
4. (外国人留学生) 確実な身元保証人がいること。身元保証人は、日本国内に居住し、一家計を立てる成年者で、志願者の学費と一身上に関する一切の責任を負うことができる者であること。
5. (外国人留学生) 日本語能力試験(JLPT)N2以上に合格した者。

(3) 募集専攻

器楽専攻（鍵盤楽器(ピアノ)／伴奏)

音楽学専攻（音楽学／楽器・音響／音楽療法）

音楽教育学専攻

(4) 出願書類

- a. 4～5ページ「(3)出願書類」に記載されている出願に必要な書類等のうち、「1. 志願票」、「2. 成績証明書」、「5. ピアノ受験曲目届」
- b. 卒業証明書（出身大学等発行のもの）
本学卒業生は2026年10月1日（木）までに教務課に請求すること。
- c. 志望理由書（様式自由）
1,000字以内（文字数を記載すること）。
- d. 研究教育業績表（様式自由（職歴があればその詳細を記入））
- e. (外国人留学生) 32～33ページ「(2)出願書類」に記載されているB～Hの書類

(5) 試験科目等【一般入試課題については10～14ページ「9. 試験科目概要および試験課題曲目」参照】

試験 専攻		専攻試験（専攻科目）	小論文	書類審査	面接
器 楽	鍵盤楽器 (ピアノ)	●2027年度一般入試課題 ●初見視奏(平易なピアノ独奏用小品。予見(3分)の上、視奏する。)	実施	実施	実施
	伴 奏	2027年度一般入試課題	実施	実施	実施
音 楽 学	音楽学	●研究計画書提出(2027年度一般入試課題(1)参照)		実施	実施
	楽器・音響	●研究計画書提出(2027年度一般入試課題(1)参照) ●成果提出(2027年度一般入試課題(2)参照)		実施	実施
	音楽療法	●研究計画書提出(2027年度一般入試課題(1)参照)		実施	実施※
	音楽教育学	●研究計画書提出(2027年度一般入試課題(1)参照)		実施	実施

※ 3分ほどの弾き歌い（暗譜またはコード譜の持ち込み可。ピアノあり）を含む。音楽療法セッションで使う曲（歌謡曲、演歌、J-popなど任意の選曲）を1曲選ぶこと。

(6) 試験日程

小論文および面接以外の試験については一般入試と同一とし、小論文および面接の試験の日程・時間については出願後に連絡をする。

(7) 合格後に関する注意

合格発表後、本学入試センター窓口にて、合格証および入学手続書類を受け取ること。入学手続の遅延を防ぐため、内容を速やかに確認すること。

(8) 国立音楽大学大学院奨学金

対象外とする。

(9) その他

音楽学専攻、音楽教育学専攻は長期履修制度適用あり。詳細は17ページ項目16.を参照のこと。

21. 教 員 組 織

大学院入学後は下表より指導教員を選び、その指導を受けることになります。なお、この一覧に記載されていない非常勤講師等の指導を希望する場合は、入学手続時に別途ご相談ください。

2027年度 大学院担当教員一覧（予定）

専攻	分 野	教 員 名	
声 楽	楽	教 授 〃<	

22. 2026年度入学試験問題

2026年度 大学院修士課程入学試験問題

共通科目 外国語（英語） 60分

解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

I 次の英文を読んで、1～5の質問に**日本語**で答えなさい。

※ この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

1. 下線部①を日本語に訳しなさい。ただし内容を明確に述べること。
2. 下線部②のように、人が犬を自分の子供のように扱う具体例としてどのような行動が挙げられているか答えなさい。
3. 第4パラグラフにおいて、犬はどのような性質を有するようになったか説明しなさい。
4. **LaCoss** に生じた下線部③とはどのようなものか。「**LaCoss**」・「子供」・「子犬」という3つの言葉を含めて説明しなさい。
5. 2014年に行われた脳画像研究において、集められた被験者の特徴を述べなさい。

II 次の英文を読んで、6～10の質問に**英文**で答えなさい。

It is easy to say “less science, more common sense,” but it is good to remember that our common sense is based on science. “What everyone knows” at one time was not common knowledge, and it was science that brought these ideas to light. Specifically, science has had huge effects on nutrition as well as on the safety and quantity of available food.

For one, common sense says that we need a variety of foods for a healthy diet, but it was science that found the link between our diet and nutritional deficit diseases. We can eat citrus fruit for the vitamin C that our bodies need to fight the disease called *scurvy. We know, too, because of the efforts of science, that too much sugar or salt can cause health problems, and we are constantly looking at our food for ways that diet can improve our health.

Also, food safety has been greatly increased by science. We know that bacteria and other microbes can get into our food and make us sick, but it took Louis Pasteur in 1859 to prove that microbes could come from the air, not arise spontaneously from food. The process that he developed, known as pasteurization, has prevented many cases of food-caused illness, and because of science, we know more techniques to protect ourselves: refrigeration, washing our hands, and covering food to keep flies off it. These techniques might not seem like science, but it is science that showed the link between these practices and prevention of food-related illness.

Finally, having enough to eat has long been affected by science in many ways. Domesticating animals and plants, the beginning of agricultural science, started thousands of years ago and laid the foundations of having readily available food. Through the understanding of how to increase yields, discourage pests, and store food — all aspects of science — we have been able to provide enough food to feed our ever growing population. In addition, science has increased our knowledge of mechanical forces so that we can transport food faster and for longer distances than ever before, thus increasing the variety and amount of available food.

Science has had an enormous effect on the food that we eat and in educating us about nutrition, keeping our food safe, and making it possible to have enough so that many people don't ever go hungry. We have not yet solved all of our food issues, but with science, we have a good chance of doing so.

[註] * scurvy 壊血病

[出典：Debra Daise and Charl Norloff ed. (2020) From Science to Common Sense, *Skills for Success 4*, Third Edition, Oxford University Press, 146. (一部改変)]

6. What is an example of the relationship between diet and nutritional deficiency?
7. What knowledge of microbes have we gained from Pasteur's research?
8. To prevent food poisoning, what are the three methods we can employ besides pasteurization?
9. According to paragraph 4, how have we managed to supply sufficient food even as the population has increased?
10. Through scientific progress, why are many of us able to live without hunger today?

※著作権者の許可を得て掲載・配付しております。

From Skills for Success: Level 4: Reading and Writing Student Book with iQ Online Practice, Debra Daise, Charl Norloff. pp.146.
Copyright © 2020 by Oxford University Press. Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear.

2026 年度 大学院修士課程入学試験問題

共通科目 外国語 (英語)

解答例

1. ちよつと立ち止まって、あなたの犬の目をじっと見つめなさい。その子のなんと可愛らしいことだろうかと圧倒される気持ちになりますか。もしくは、ひよつとすると、その子を抱きしめたいという抗い難い衝動を感じますか。
2. 犬を犬用の保育園へ行かせたり、着飾ったり、休暇に連れて行ったり、人間の赤ちゃんのように話しかけたりすること。
3. 今日の犬は、数千年もかけて、親切で愛情にあふれ注意深く私たちに調子を合わせるような性質を持つよう、慎重に選ばれてきた。
4. LaCoss はまるで自分が生んだ子供であるかのように、子犬 (のシオとバブカ) を愛し守りたいという抑えきれないほど強い衝動が沸き上がった (という現象)。
5. 2歳から10歳までの子供が少なくとも1人いて、少なくとも2年以上犬を飼っている母親
6. We can eat citrus fruit for the vitamin C that our bodies need to fight the disease called scurvy.
7. They [microbes] could come from the air, not arise spontaneously from food.
8. Refrigeration, washing our hands, and covering food to keep flies off it.
9. Through the understanding of how to increase yields, discourage pests, and store food (— all aspects of science).
10. (Because) science has had an enormous effect (on the food that we eat and) in educating us about nutrition, keeping our food safe, and making it possible to have enough.

I あるポップス合唱団指導者による報告文の一部です。全文を日本語に訳しなさい。

Vor etwa elf Jahren begann ich, meinen Leitungsstil¹⁾ als Popchorleiterin zu hinterfragen. Einerseits machte es mir großen Spaß, als Dirigentin vor 25 Sänger:innen²⁾ zu stehen und mit Gestik, Mimik und meinem Körper die Musik zu formen, die aus den Mündern und Körpern der Menschen vor mir kam. Es fühlte sich toll an, die musikalischen Fäden in der Hand zu halten, andere zu ermutigen und zu inspirieren. Doch ich fragte mich auch: Haben die Menschen vor mir nicht genauso wie ich ihre eigenen Gestaltungsabsichten³⁾?

(出典：Musik und Unterricht. 158. Ausgabe 2025, S. 22. 一部変更)

註

- 1) Leitungsstil Leitung + Stil
2) Sänger:innen Sängerinnen und Sänger
3) Gestaltungsabsichten 表現への思いや意図

※著作権者の許諾を得て掲載・配付しております。

Bartels, Daniela. "Partizipation im Schulchor. Prinzipien und Methoden für mehr Mitbestimmung im Chor." Musik & Unterricht, no. 158, 2025, p. 22.

II 哲学者ジョン・R・サールに関する記事の一部です。全文を日本語に訳しなさい。

Was ist Sprache? Warum sprechen wir überhaupt, und was bezwecken wir damit? Das sind Fragen, die zu den ältesten der Philosophie gehören, und über Jahrtausende hinweg wurden sie etwa wie folgt¹⁾ beantwortet: Sprache dient dazu, die Wirklichkeit in Worte zu fassen. Sie ist dazu da, Ideen wiederzugeben oder auch Tatsachen in der realen Welt zu bezeichnen. Im Kern der Sprachphilosophie stand darum²⁾ wesentlich stets die Lehre von der Bedeutung: die Semantik. Aber dieser Sprachbegriff greift zu kurz³⁾.

(出典：DIE ZEIT. 29. September 2025, 18:42 Uhr. 一部変更)

[<https://www.zeit.de/kultur/2025-09/john-r-searle-philosoph-sprache-usa-tod>]

註

- 1) etwa wie folgt おおよそ次のように
2) darum = deshalb
3) zu kurz greifen 不十分である

※著作権者の許諾を得て掲載・配付しております。

Balzer, Jens. "John R. Searle: Sie nannten ihn Cowboy." Die Zeit, Zeit-Verlag Gerd Bucerius GmbH & Co. KG, 29 Sept. 2025, www.zeit.de/kultur/2025-09/john-r-searle-philosoph-sprache-usa-tod.

解答例

I

11 年ほど前、私はポップス合唱団指導者としての自分の指導スタイルの背景／前提を探る（／を問い直すことを）始めた。一方では、25 名の歌い手たちの前に指揮者として立つこと、身振りや表情や自分の身体を使って、私の前にいる人々の口や身体から生まれる音楽を形作ることが楽しかった。音楽的な糸を手中に収めること／思い通りにすることや、他の人たちを勇気づけ／励まし、鼓舞することは、とても気持ちよかった。だが、私は疑問にも思った。私の前にいるこの人たちは、私と同じように自分たち自身の表現への思いや意図を持っていたはしまいか。

II

言語とは何か。そもそも、私たちはなぜ話すのか、そして（私たちは）それでは何を意図して／目指しているのか。これは、哲学の最も古い問いに属するもので、数千年（数世紀）もの間、次のように答えられてきた。言語は、現実をこゝとばで捉えるために役立つ。（言語は）考えを再現する／表現するため、あるいはまた、現実世界の事実を表示する（名前を与える）ためにある、と。そのため、言語哲学の申核／中心には、本質的に常に意味の理論／規範／教え、つまり意味論がある。しかし、この言語の捉え方（言語概念）は、不十分である。

2026 年度 大学院修士課程入学試験問題
外国語(仏語) 60 分

A. フランス革命とともに、1789 年に公布された『人権宣言』について、その後刊行された様々な文章を集めたアンソロジーの序文から、以下の文章を日本語に訳し、解答用紙に書きなさい。

La Déclaration des droits de l'homme et du citoyen de 1789 se réfère explicitement, dès son préambule, à des « droits naturels, inaliénables et sacrés de l'homme », et énumères en son deuxième article les « droits naturels et imprescriptibles de l'homme » (ce sont « la liberté, la propriété, la sûreté, la résistance à l'oppression »). Quel que soit leur contenu singulier, la déclaration semble bien se rapporter à ce que la philosophie moderne désignait sous le nom de « droits naturels », c'est-à-dire à des droits que posséderaient les individus antérieurement à toute société.

【出典】Frédéric Worms (textes choisis et présentés), *Droits des hommes et philosophie, une anthropologie (1789-1914)*,

Paris, CNRS Éditions, 2009, p.16.

B. 17 世紀の哲学者スピノザの『エチカ』に、恋愛をめぐる諸問題を投げかけようという、(大胆な) 著作から、以下の文章を日本語に訳して、全文を解答用紙に書きなさい。

Papillonnage, séduction compulsive, mariage fidèle, mariage infidèle, chasteté voulu ou consentie, autant de manières de vivre ce qu'on appelle la sexualité. Et c'est ce vivre-là qui, d'une certaine façon, structure toute le reste de l'existence d'un homme (ou d'une femme).

Si ce qui précède est vrai, alors il est bien évidente qu'une éthique, quelle qu'elle soit et dès lors qu'elle revendique comme telle, se trouve dans l'obligation d'aborder directement cet objet...

【出典】Bernard Pautrat, *L'amour et Spinoza, Éthique sexuelle*, Paris, Éditions Payot & Rivages, 2011, p.9-10.

※著作権者の許諾を得て掲載・配付しております。

Frédéric Worms, *Droits de l'homme et philosophie*, Paris, CNRS Éditions, 2009, p.16.
L'Amour et Spinoza, *Éthique sexuelle*, Bernard Pautrat e Payot & Rivages, 2011

2026 年度 大学院修士課程入学試験問題外国語(仏語)

模範解答

1) 1789 年の『人間と市民の権利の宣言』は、その前文において明確に「人間の自然で、不可侵で、神聖な権利」に言及しており、さらに第 2 条では「人間の自然的かつ不可侵の権利」(それは「自由、所有権、安全、圧政への抵抗」である)を列挙している。

その具体的な内容がどうであれ、この宣言は、近代哲学が「自然権」と呼んでいたもの、すなわち、あらゆる社会に先立って個人が本来的に持つとされる権利を指しているように思われる。

2) 気まぐれな恋愛、強迫的な誘惑、貞節な結婚、不貞な結婚、自ら望んだ、あるいは受け入れた貞潔——これらはすべて、いわゆる「性」を生きるさまざまなあり方である。そして、この“生き方”こそが、ある意味で、男性(あるいは女性)の存在の残りすべてを構造づけている。

もしそれが真であるなら、どのような倫理であれ、自らを倫理として主張する以上、この対象に直接取り組む義務を負うのは明らかだ。

La meta principale di una vacanza in Salento è Lecce, famosa per la sua architettura barocca tanto che viene chiamata "la Firenze del sud". Il centro storico è un luogo indimenticabile, un labirinto di vicoli e piazze e, passeggiando, è possibile ammirare l'arte e godere l'atmosfera magica che circonda la città.

La cosa che colpisce di più è il colore della pietra morbida e calcarea che conferisce al centro storico sfumature ambrate, quasi color miele. Agli occhi del turista appaiono tante case e chiese decorate con questa pietra locale molto bella. La Basilica di Santa Croce in stile barocco è famosa per la sua facciata decorata con figure di animali, piante e figure umane. *L'Anfiteatro romano del II secolo dopo Cristo è uno dei monumenti più antichi e ospita eventi culturali e musicali.* Arrivando nella Piazzetta Chiesa Greca, ci si trova in un luogo molto suggestivo, un piccolo angolo silenzioso con un fascino incredibile. Il luogo giusto per una pausa è la Villa comunale, uno splendido parco molto elegante con al centro un tempio.

Continuando a camminare nei vicoli, si trovano laboratori dove alcuni artigiani lavorano la pietra creando sculture, altri in cui si trovano oggetti in terracotta, ferro e tessuti ricamati. Si possono osservare gli artigiani intenti a realizzare le bambole di cartapesta, caratteristiche del luogo. ** Infine, bisogna provare le prelibatezze locali nei numerosi ristoranti: la puccia, un tipo di pane a forma di ciambella farcito con salumi, formaggi e verdure, le orecchiette, un tipo di pasta condita con le cime di rapa e tanti dolci. ** Per chi si reca in Salento Lecce, museo a cielo aperto, è una meta da non trascurare.

Rispondi alle domande.

1. Vero o falso?

- | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|
| 1. La Basilica di Santa Croce è in stile barocco. | V | F |
| 2. La puccia è un tipo di minestra. | ☐ | ☐ |
| 3. Lecce è in Salento. | ☐ | ☐ |
| 4. Il colore della pietra degli edifici è di color verde. | ☐ | ☐ |
| 5. Le statue di cartapesta sono caratteristiche della città. | ☐ | ☐ |
| 6. Nella Villa Comunale non ci sono parchi. | ☐ | ☐ |

2. Collega le frasi

- | | |
|--|---|
| 1. Le orecchiette | a. chiamata anche la "Firenze del Sud". |
| 2. La Basilica di Santa Croce è famosa per | b. facciata decorata. |
| 3. Lecce è | c. sono un tipo di pasta. |
| 4. Non si può | d. tralasciare Lecce quando si va in Salento. |
| 5. Nella Villa Comunale ci sono | e. un parco e un tempio. |

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

3. Completa il testo con le parole date (famosa-momenti-materiali-pietra-attrazioni)

Lecce è (1) per la sua architettura barocca tanto che viene chiamata "la Firenze del sud". Il centro storico affascina con i suoi vicoli, piazze e edifici in (2) leccese dal colore ambrato. Tra le (3) principali ci sono la Basilica di Santa Croce, riccamente decorata, e l'Anfiteatro romano, ancora oggi sede di eventi. Luoghi suggestivi come la Piazzetta Chiesa Greca e la Villa Comunale offrono (4) di relax. Lecce è anche ricca di botteghe artigiane dove si lavorano pietra, cartapesta e altri (5) locali. Infine, la cucina tipica offre piatti come la puccia, le orecchiette e vari dolci. Lecce è un vero museo a cielo aperto, da non perdere.

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

4. Traduci in giapponese

1. * L'Anfiteatro...musicali.*

2. **Infine...dolci.**

La meta principale di una vacanza in Salento è Lecce, famosa per la sua architettura barocca tanto che viene chiamata "la Firenze del sud". Il centro storico è un luogo indimenticabile, un labirinto di vicoli e piazze e, passeggiando, è possibile ammirare l'arte e godere l'atmosfera magica che circonda la città.

La cosa che colpisce di più è il colore della pietra morbida e calcarea che conferisce al centro storico sfumature ambrate, quasi color miele. Agli occhi del turista appaiono tante case e chiese decorate con questa pietra locale molto bella. La Basilica di Santa Croce in stile barocco è famosa per la sua facciata decorata con figure di animali, piante e figure umane. *L'Anfiteatro romano del II secolo dopo Cristo è uno dei monumenti più antichi e ospita eventi culturali e musicali.* Arrivando nella Piazzetta Chiesa Greca, ci si trova in un luogo molto suggestivo, un piccolo angolo silenzioso con un fascino incredibile. Il luogo giusto per una pausa è la Villa comunale, uno splendido parco molto elegante con al centro un tempio.

Continuando a camminare nei vicoli, si trovano laboratori dove alcuni artigiani lavorano la pietra creando sculture, altri in cui si trovano oggetti in terracotta, ferro e tessuti ricamati. Si possono osservare gli artigiani intenti a realizzare le bambole di cartapesta, caratteristiche del luogo. ** Infine, bisogna provare le prelibatezze locali nei numerosi ristoranti: la puccia, un tipo di pane a forma di ciambella farcito con salumi, formaggi e verdure, le orecchiette, un tipo di pasta condita con le cime di rapa e tanti dolci. ** Per chi si reca in Salento Lecce, museo a cielo aperto, è una meta da non trascurare.

Rispondi alle domande.

1. Vero o falso?

- | | | |
|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. La Basilica di Santa Croce è in stile barocco. | V | F |
| 2. La puccia è un tipo di minestra. | ☒ | ☒ |
| 3. Lecce è in Salento. | ☐ | ☐ |
| 4. Il colore della pietra degli edifici è di color verde. | ☒ | ☒ |
| 5. Le statue di cartapesta sono caratteristiche della città. | ☐ | ☐ |
| 6. Nella Villa Comunale non ci sono parchi. | ☒ | ☒ |

2. Collega le frasi

- | | |
|--|---|
| 1. Le orecchiette | a. chiamata anche la "Firenze del Sud". |
| 2. La Basilica di Santa Croce è famosa per | b. facciata decorata. |
| 3. Lecce è | c. sono un tipo di pasta. |
| 4. Non si può | d. tralasciare Lecce quando si va in Salento. |
| 5. Nella Villa Comunale ci sono | e. un parco e un tempio. |

1. _____ 2. _____ 3. _____ a _____ 4. _____ d _____ 5. _____ e _____

3. Completa il testo con le parole date (famosa-momenti-materiali-pietra-attrazioni)

Lecce è (1) per la sua architettura barocca tanto che viene chiamata "la Firenze del sud". Il centro storico affascina con i suoi vicoli, piazze e edifici in (2) leccese dal colore ambrato. Tra le (3) principali ci sono la Basilica di Santa Croce, riccamente decorata, e l'Anfiteatro romano, ancora oggi sede di eventi. Luoghi suggestivi come la Piazzetta Chiesa Greca e la Villa Comunale offrono (4) di relax. Lecce è anche ricca di botteghe artigiane dove si lavorano pietra, cartapesta e altri (5) locali. Infine, la cucina tipica offre piatti come la puccia, le orecchiette e vari dolci. Lecce è un vero museo a cielo aperto, da non perdere.

1. famosa 2. pietra 3. attrazioni 4. momenti 5. materiali

4. Traduci in giapponese

1. * L'Anfiteatro...musicali.*

西暦2世紀のローマ円形闘技場は、最も古い建造物の一つであり、文化・音楽イベントを開催しています。

2. **Infine...dolci.** 最後に、多くのレストランで地元の名物料理を味わうべきです。ブッチャは、生ハムやサラミ、チーズ、野菜を挟んだドーナツ形のパンであり、オレッキエッタは、菜の花で味付けされたバスタです。さらに、多くの甘いお菓子もあります。

問題 A

以下の設問Ⅰ～Ⅴにつき、それぞれ空欄 (A) ～ (E) にあてはまる語句を問題末尾の語句欄より選び、その記号を解答欄に記しなさい。問題文の (A) ～ (E) 欄のうち、特に注記のないものは**一般キークワート群**から、**〈人名〉**と注記のあるものは**人名群**から、また《 》中にあるものは**作品名群**から選びなさい。各設問の**対応する音源**と記された欄には、試験後半で聴く音源の提示の際にアナウンスされる番号を記しなさい。

Ⅰ：多声音楽が生まれたのは中世の時代で、最初は (A) に他の旋律を縦に組み合わせる形を取った。この技法は (B) と呼ばれる。これは多声音楽の源流である。(C) 年前後に活躍し、この (B) の発展に大きく寄与したレオニスとペロティヌスは (D) 楽派という。両者はともに《地上のすべての国々》という曲を残しているが、ペロティヌス作曲の《地上のすべての国々》**対応する音源**は、レオニスでは 2 声部だった音楽が 4 声部に拡大されている点で目を引く。これは (E) という記譜法に基づいている。

Ⅱ：ルネサンス時代は、まずブルゴーニュ楽派が現在の (A) で発展した 3 度や 6 度を中心とする響きを取り入れた。その (A) の作曲家の中でも、一時期フランスに滞在して新しい和声を彼らに伝えたとされる (B) 〈人名〉が有名である。その後、ブルゴーニュ楽派は (C) 楽派へと引き継がれ、ルネサンス音楽の中心地となる。(C) 楽派の代表者は (D) 〈人名〉であり、彼が確立したとされる (E) 様式はヨーロッパ中に広がった。その彼が最晩年に書いた《ミサ・パンジエ・リングア》**対応する音源**は、(E) 様式による代表作である。

Ⅲ：18 世紀のイタリアでは、オペラの (A) であったシンフォニアが独立して演奏されるようになり、やがて交響曲というジャンルが誕生する。それに貢献したのがミラノ生まれの作曲家サンマルティニーニである。一方、初期の交響曲の発展に大きく寄与したのは、(B) 楽派のシュタミッツやカンナビヒであった。その後、ハイドンとモーツァルトが数多くの交響曲を創作し、ベートーヴェンへと受け継がれていく。ベートーヴェンの交響曲第 6 番《田園》は、ロマン主義時代に隆盛した交響詩などの (C) に多大な影響を与えた。交響詩を創始した (D) 〈人名〉の代表作としてよく知られているのは、《レ・プレリュード (前奏曲)》**対応する音源**や《E》である。

Ⅳ：ロマン主義時代は、自らが得意とするジャンルを絞って創作する作曲家が増えてきた。(A) 年に生まれたドイツの作曲家 (B) 〈人名〉とイタリアのヴェルディは共にオペラの巨匠であり、オーストリア生まれで交響曲第 4 番《ロマンティック》の作者 (C) 〈人名〉は交響曲と (D) の大家である。ヴェルディが作曲した《レクイエム》**対応する音源**は、モーツァルトやフォーレのものに比肩する名曲である。またドイツ、フランス、イタリア以外のヨーロッパ諸国に生をうけた作曲家の国際的活躍も、この時代の特徴である。例えば、ロシアの作曲家リムスキー＝コルサコフによる『千夜一夜物語』を題材とした交響組曲《E》は、その華麗なオーケストレーションで知られる。

Ⅴ：第二次世界大戦後は前衛主義が主流となる。ダルムシュタット夏季現代音楽講習会に集った作曲家が推し進めた (A) が前衛の潮流を牽引したが、彼らとは異なる手法で同時代を歩んだ作曲家もいる。例えば、ギリ

シャの作曲家 (B) 〈人名〉は数学を駆使した《メタスタシス》で注目を集め、ハンガリー出身のリゲティは (C) と呼ばれる独自の音群書法を開拓した。この手法を用いたリゲティの代表作は、《アトモスフェール》**対応する音源**である。さらに、音楽に (D) を導入したアメリカの作曲家 (E) 〈人名〉は《易の音楽》を発表し、音楽界に大きな影響を与えた。

一般キークワート群

(ア)900、(イ)1200、(ウ)1500、(エ)1783、(オ)1813、(カ)1843、(キ)イギリス、(ク)イタリア
(ケ)スペイン、(コ)ドイツ、(サ)ロシア、(シ)ポーランド、(ス)ヴェネツィア、(セ)アランドル
(ソ)ローマ、(タ)マンハイム、(チ)ノートルダム、(ツ)ナポリ、(テ)宗教音楽、(ト)世俗音楽
(ナ)標題音楽、(ニ)民俗音楽、(ヌ)ゴスベル、(ネ)オルガヌム、(ノ)間奏曲、(ハ)コラール
(ヒ)シャンソン、(フ)序曲、(ヘ)グレゴリオ聖歌、(ホ)協奏曲、(マ)ソナタ、(ミ)ジャズ、(ム)通奏
(メ)サウンドスケープ、(モ)教会旋法、(ヤ)トータル・セリエリズム、(ユ)十二音技法、(ヨ)偶然性
(ラ)具体音、(リ)モード・リズム、(ル)定旋律、(レ)アイソリズム、(ロ)ミクロポリフォニー

人名群

(あ)ヴァグナー、(い)ヴィヴァルディ、(う)ヴィクトリア、(え)オケゲム、(お)カッチーニ、(か)セナキス
(き)ケージ、(く)サティ、(け)サーリアホ、(こ)ジャリーノ、(さ)シューマン、(し)J. シュトラウス II 世
(す)R. シュトラウス、(せ)ジョスカン・デ・プレ、(そ)ショパン、(た)ストラヴィンスキー、(ち)ダウランド
(つ)ダンスタブル、(て)チャイコフスキー、(と)バレストリーナ、(な)ブルックナー、(に)ベルリオーズ
(ぬ)ポロディン、(ね)マーラー、(の)メシアン、(は)モンテヴェルディ、(ひ)ライリー、(ふ)リスト

作品名群

(a)オルフェオ、(b)謝肉祭、(c)レンミンカイネン、(d)シエヘラザード、(e)広島の犠牲者に捧げる哀歌
(f)子供と魔法、(g)トゥーランガリラ交響曲、(h)ピーターと狼、(i)ムツェンスク郡のマクベス夫人
(j)ファウスト交響曲、(k)少年の魔法の角笛、(l)幻想交響曲、(m)カルメン、(n)浜辺のアイインシュタイン

問題 B

修士課程で取り組みたいと考えるテーマについて、あなたの専門領域 (演奏、創作、研究) と絡ませながら、西洋音楽史の見地から具体的に書きなさい (300 字～600 字程度)。

2026 年度 大学院修士課程入学試験
共通科目 西洋音楽史 解答例

問題 A 問題文の指示にしたがって以下の空欄にあてはまる記号を記しなさい。

	A	B	C	D	E	対応する音源
問題Ⅰ	へ	ネ	イ	チ	リ	4
問題Ⅱ	キ	つ	セ	せ	ム	2
問題Ⅲ	フ	タ	ナ	ふ	j	8
問題Ⅳ	オ	あ	な	テ	d	1
問題Ⅴ	ヤ	か	ロ	ヨ	き	3

問題 B 以下の欄に自由に記述しなさい。
略

問題 A と問題 B の両方に解答しなさい。

問題 A 以下の設問 I～VI につき、空欄にあてはまる語句を問題末尾の語句欄より選び、解答欄に記しなさい。特に注記のないものは一般語句群から、〈人名〉と注記のあるものは人名群から選びなさい。また各設問の「対応する音源」と記された欄には、試験後半で聴く音源について、音源提示の際にアナウンスされる番号も、解答欄に記しなさい。

設問 I. 尺八は、江戸時代、禅宗一派である (A) の法器だった。(A) の僧侶は (B) と呼ばれ、深編み笠で顔を隠しながら、尺八を吹きつつ托鉢を行った。この尺八には通常、指孔が (C) ある。江戸時代中期に (B) に伝わる尺八の伝承を整理した人が (D) 〈人名〉である。

対応する音源

設問 II. (A) 〈人名〉は幼少の頃より三代將軍足利義満の寵愛を受け、都で公家や武家の社会と交わりを持ちながら演能活動を展開したが、晩年佐渡に配流となった。(A) はたくさんの作品を世に残したが、亡霊や神など霊的な存在を舞台に登場させ、過去を回想したり再現しながら舞を舞うという (B) という形式を確立したことの意義は大きい。能で演奏される四つの楽器を総称して (C) と呼ぶ。対応する音源

設問 III. 江戸時代に (A) 〈人名〉は、筑紫箏（筑紫流箏曲）を改良して、半音を含む (B) という音階による新しい箏曲（俗箏）を作った。「六段の調」は (C) と呼ばれる調弦で演奏される。現在、(D) は角爪を、(E) は丸爪を用いる。対応する音源

設問 IV. 飛鳥時代以降、大陸から伝来した雅楽は、平安時代に宮廷社会にとりこまれ、次第に日本化した。例えば、吹き物・弾き物・打ち物による器楽合奏の演奏形式 (A) が生まれ、御遊や通過儀礼、四季折々の自然美鑑賞に際し演奏された。(A) の吹き物には、現在 (B) (C) (D) が用いられる。対応する音源

設問 V. 近松門左衛門は (A) 〈人名〉のために、市井の時事的話題を盛り込んだ (B) と呼ばれる作品を書いた。その代表作が (C) である。(A) の語りは一世を風靡し、それ以前の浄瑠璃は古浄瑠璃と呼ばれ区別されるほど、人形浄瑠璃（文楽）の音曲として定着した。現在の文楽人形は、三人で一体を操る (D) だが、(A) が活動していた頃は一人遣いだった。対応する音源

設問 VI. 琉球王国時代に中国の明より三弦が伝わり、(A) となった。(A) は明からの冊封使をもてなす饗宴の音楽として演奏され、躍奉行であった (B) 〈人名〉は組踊などの作品を作った。三弦は胴の部分に (C) が張られており、(D) を右手人差し指に装着して演奏する。対応する音源

一般語句群

三味線	小鼓	箏	大鼓	羯鼓	笙	三線	龍笛	太鼓	能管
三人遣い	四人遣い	五人遣い	三拍子	四拍子	五拍子	普化宗	日蓮宗		
浄土宗	八橋流	山田流	虚無僧	生田流	猫皮	蛇皮	カンガルー皮		
松羽目物	時代物	世話物	爪	桴	弓	現在能	夢幻能	平調	平調子
上調子	都節音階	民謡音階	管絃	国風歌舞	催馬楽	5つ	6つ	7つ	
「菅原伝授手習鑑」 「曽根崎心中」 「勧進帳」									

人名群

生田梭校	玉城胡堂	豊竹若太夫	八橋梭校	観阿弥	中尾都山	黒沢琴古
金春禅竹	世阿弥	竹本義太夫				

問題 B 修士課程でのあなたの演奏、創作や研究と、日本音楽史との関わりについて、できるだけ具体的に書きなさい。300～600 字程度。

問題 A

	A	B	C	D	E	対応する音源
設問 I	普化宗	虚無僧	5つ	黒沢琴古	—	2
設問 II	世阿弥	夢幻能	四拍子	—	—	4
設問 III	八橋檢校	都節音階	平調子	生田流	山田流	5
設問 IV	管絃	笙*	簫翼*	龍笛*	—	1
設問 V	竹本義太夫	世話物	「曾根崎心中」	三人遣い	—	6
設問 VI	三線	玉城朝薫	蛇皮	爪	—	3

(*は順不同可)

問題 B 略

1: 次のバスに基づき、四声体和声を作成しなさい。(1 音符 1 和音とする)

Musical staff showing a bass line in 3/2 time, key of D major. The notes are: D4 (quarter), E4 (quarter), F#4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), D5 (quarter).

Musical staff showing a bass line in 3/2 time, key of D major. The notes are: D4 (quarter), E4 (quarter), F#4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), D5 (quarter).

Musical staff showing a bass line in 3/2 time, key of D major. The notes are: D4 (quarter), E4 (quarter), F#4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), D5 (quarter).

2: 次のソプラノに基づき、四声体和声を作成しなさい。(1 音符 1 和音とする)

Musical staff showing a soprano line in 3/2 time, key of D major. The notes are: D4 (quarter), E4 (quarter), F#4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), D5 (quarter).

Musical staff showing a soprano line in 3/2 time, key of D major. The notes are: D4 (quarter), E4 (quarter), F#4 (quarter), G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter), D5 (quarter).

Meno mosso

2026年度 大学院修士課程入学試験問題
器楽専攻 伴奏 (初見視奏)

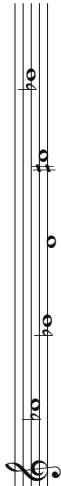
Tempo di valse

7 13 19 24

mp *mf* *mp* *a tempo* *poco rit.*

2026年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 作品創作（作曲） 360分

以下の5音を使用して、ピアノ楽曲を創作しなさい。
なお、形式、拍子、リズム、長さ等は自由である。



2026年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 音楽理論（和声） 180分

次のアルテルネ課題を四声体で実施しなさい。

Adagio

4

8

12

16

Allegretto

19

24

28

31

35

2026年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 音楽理論（フーガ） 360分

次の主唱に基づき、学習フーガの：

- 1) 主要提示部～第1嬉遊部～平行調提示部
 - 2) 追迫部全体（コーダは任意）を四声体で作成しなさい。
- 答案の楽譜中に、主題類（主唱等）を明記すること。

Andante

音価自由
↓

2026年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 ソルフェージュ（和声） 180分

次のアルテルネ課題を四声体で作成しなさい。

バス課題

Adagio

5

8

12

ソプラノ課題

Moderato

15

19

23

27

31

2026年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 ソルフェージュ (新曲視唱)

Andante (♩ = 132 ca.)

4

7

10

13

2023年度入試の過去問題ですが、参考に掲載します。

2023年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 ソルフェージュ (新曲視奏) (声楽)

Andante amabile

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

2026年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 ソルフェージュ(新曲視奏) (チューバ)

4 $\text{♩} = 76 \text{ ca.}$ *mf*

7 *f*

10 $\text{♩} = 60 \text{ ca.}$ *p* *mf* *f*

13 *f* *ff* *mp* *poco rit.*

17 *a tempo* *rit.* *mf* *p* *pp*

2026年度 大学院修士課程入学試験問題
作曲専攻 ソルフェージュ (小論文) 60分

「ソルフェージュ教育におけるアンサンブル (合奏) の役割について」
具体例を挙げながら、あなたの考えを述べなさい。

2026年度 大学院修士課程 入学試験問題
作曲専攻 音楽デザイン (小論文) 90分

1. 音楽実践において歴史的に重要だとあなたが考える発明をひとつ取り上げ、その理由を論じなさい。
2. 『○○学とコンピュータ音楽』という題名で、『○○』に任意の学術領域を当てはめ、その領域とコンピュータ音楽の関係について論じなさい。ただし関係する先行研究や研究者を取り上げ、今後予測される展開についてあなたの見解を述べることを。

2026年度 大学院修士課程 入学試験問題

音楽学専攻 日本音楽史 90分

設問 1

以下の語の中から3つ選び、関連する種目（ジャンル）や時代、人名、楽曲名などを具体的に挙げて、その特徴を100字程度で説明しなさい。

- 1) 黒御簾音楽（陰囃子）
- 2) 笙
- 3) 平調子
- 4) 追分節
- 5) 国風歌舞
- 6) 平家琵琶

設問 2

以下の人名の中から2人選び、その人物によってなされた日本音楽史上の功績を100字程度で説明しなさい。

- 1) 円仁
- 2) 藤原貞敏
- 3) 宮城道雄
- 4) 世阿弥
- 5) 小泉文夫

設問 3

日本音楽における楽譜と伝承の特徴について、具体的な事例を挙げながら500字程度で説明しなさい。

2026 年度 大学院修士課程入学試験問題

音楽学専攻 楽器・音響（楽器音響学） 90 分

1. デジタルで表現された音響信号を扱う研究について考える。

a) 対象とする音響信号の大きさ、または高さを求めるにはどのような分析を行なう必要があるか。その流れを日本語表現で述べなさい。

b) a) を具体的にコンピュータプログラムで実施する場合のプログラミングソースを書きなさい。プログラミング言語は、matlab, python など、自由に選択してよい。選択した言語を明示しなさい。

2. 楽器音や音響信号を分析するためには、マイクروفオンをつかった録音や録音済みオーディオ信号を用いて分析することが多いが、それらを使ってどのような流れで調査・分析をし、その後どのような流れで検証するのかについて説明しなさい。具体的な課題を一つ設定し、測定方法、測定の注意点、分析方法、得られる結果、さらに導かれる結論について述べなさい。文字数の目安は400～800 字とする。

2026 年度 大学院修士課程入学試験問題

音楽教育学専攻（筆記）90 分

【問題 1】

次の事項から 3 つ選び、音楽教育と関連させて、簡潔に説明しなさい。

ウェルビーイング

創造性

生成 AI

オルフ・システム

曲種に応じた発声

【問題 2】

学校や地域社会において、子どもが芸術系の教科・科目である音楽を学ぶ意義は何か。あなたの考えを述べなさい。

【問題 3】

図 1、図 2 は、日本における学校外の学びの状況、習い事の実態を示したものである。（東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2015-2023）。この 2 つのデータのデータから何が読み取れるのか、読み取ったことを踏まえ、子どもたちが学校外で音楽を学ぶ機会を充実するにはどうすればよいのか、音楽教育の在り方を踏まえて論じなさい。

図 1. 習い事率（学年別）

図 2. 習い事の種類（学年階級別、中高生）

（著作権の関係上、図の掲載を控えます。）

国立音楽大学大学院音楽研究科(修士課程)

2027年度

学 生 募 集 要 項

2026年7月発行

国立音楽大学

